

官

事

號 外

明治四十一年二月十六日

日曜日

印 刷 局

○第二十四回 衆議院議事速記録第九號

(帝國議會)

(書記朗讀)

明治四十一年二月十五日(土曜日)午後一時七分開議

議事日程 第八號 明治四十一年二月十五日

午後一時開議

第一 公證人法案(政府提出)

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 間接國稅犯則者處分法中改正法律案(政府提出)

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第五 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

第六 明治三十八年法律第十七號中改正法律案(政府提出)

第七 軍艦水雷艇補充基金組入ニ關スル法律案(政府提出)

第八 事業公債條例中改正法律案(政府提出)

第九 臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出)

第十 陸海軍召集諸費繰替支辨ニ關スル法律案(政府提出)

第十一 鹽專賣法中改正法律案(政府提出)

第十二 衆議院議員選舉法中改正法律案(三郎外三名提出)

第十三 未成年者飲酒禁止法案(根本正提出)

第十四 衆議院議員選舉取締ニ關スル法律案(高橋安爾外三名提出)

第十五 衆議院議員選舉法中改正法律案(穀部四郎外二名提出)

第十六 渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律案(島田三郎外一名提出)

第十七 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(東尾平太郎外三名提出)

第十八 非常特別稅法中改正法律案(島田三郎外一名提出)

第十九 鹽專賣法廢止法律案(早速惣翁外二名提出)

第二十 治水事業費繩延復活ニ關スル建議案(植場平外六名提出)

第二十一 撫順炭坑開發ノ建議案(松本君平外八名提出)

○議長(杉田定一君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

一 貴族院ヨリ送付セラレタル議案左ノ如シ

一 水利組合法案

一 裁判所構成法中改正法律案

一 貴族院ヨリ送付セラレタル同院提出案左ノ如シ

東京都制案

千代田縣設置ニ關スル法律案

東京都千代田縣組合法案

一 請願委員ノ補缺選舉ニ左ノ通り當選セラレタリ

第六部請願委員 降旗元太郎君

○議長(杉田定一君) 是ヨリ會議ヲ開キマス——御詰申スコトガアリマス、關野善次郎君病氣歸國ノタメ、昨十四日ヨリ三週間請暇ノ願出が出て居リマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、佐治幸平君病氣ノタメ今十五日ヨリ三週間請暇ノ願出が出て居リマス、許可シテ差支ガアリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、決算委員佐治幸平君病氣ノタメ、辭任ノ申出が出来居リマス、許可シテ差支アリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイト認メマス、同君ハ第七部選出ニ付キ、同部ニ於テ其補缺選舉アランコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 宜シウゴザイマス

○澤來太郎君 議長

○澤來太郎君 登壇

○澤來太郎君 諸君、何デスカ

○澤來太郎君 議場整理ノ件ニ付テ議長ニ質問ガアリマス、發言ノ御許ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 宜シウゴザイマス

○議長(杉田定一君) 諸君、私ハ議場整理ノ件ニ付キマシテ議長ニ一問ヲ試ミ、併セテ諸君ニ御詰リテ致シタイコトガアルノデゴザイマス、ソレハ一昨日ノ議場、恰モ鼎ノ沸クガ如ク、沸騰シタルトキニ際シテ、守衛長並ニ某書記官が、諸君ノ御面前ニ於キマシテ衆議院規則ニ反シタルトコロノ現行犯ト看做スベキトコロノ行がアツクニ拘ラズ、議長ハ之ヲ不問ニ附サレテ、今日ニ至ツタノデゴザイマス、言フマテモナク當議會ハ良タモ欽定憲法ノ發

勵スル所ニシテ、此議會ノ神聖ト云フモノハ何處マテモ凜トシテ侵スベカラザルモノデナケレバナラヌ、而シテ其要素ダルトコロノ識員ノ威信モ亦嚴トシテ侵スベカラザルモノト思フノアゴザイマス、然ルニ何事ゾ、守衛長ノ如キ下級書記官ノ如キ、微タル小吏ノ身ヲ以テ、而シテ諸君ノ面前ニ無禮ノ行動ヲナスニ至シテハ、議會ノ神聖ヲ保ツ上ニ於テ、又讀員ノ威嚴ヲ保持スル上ニ於テ、到底不問ニ附レ去ルモノナイト信ジマス、此讀場ノ神聖ヲ傷ケ、若タヘ御同様ノ威信ヲ害スル行爲アルニ至シテハ、上ハ國務大臣ト雖ルノ已ムナキニ至シタ位ノモノテゴザイマス、實ニ吾ニ御同様ノ威信ヲ尊重スルト云フ上ニ於キマシテハ、立法ノ旨ヤ甚ダ深シト言ハナケレバナリマセ又、然ルニ「昨日ニ於ケル守衛長ノ行動ハ如何アゴザイマシタラウ、此壇ニ登テ來マシタコロノ五六名ノ識員ニ對シマシテ、議長ノ指揮命令ヲ待タズシテ、此演壇ヨリ退席セシメントスルノ態度ヲ取シテ、而モ吾ニ同様ノ一人タル井上角五郎君ニ對シマシテハ、其身體ニ手ヲ觸レマシテ、此演壇ヨリ押シ落サントシタノアゴザイマス、ソレカラ新聞ノ傳ヘテ居リマストコロニ依リマスト、津久井ト云フ下級ノ書記官ダサウテゴザイマスガ、此書記官ガ何時モ點呼ノ名簿ヲ讀上ゲルトコロノ河合トカ云フ人ヨリ其名簿ヲ持取シテ、何カ五六言發言致シマシタ、演說様ノコトヲ申シマシタ、ソレカラ點呼ニ取掛シタノアゴザイマスガ、間モナク彼ハ最初ノ勢ニ似ズシテ、僅ニ五六人ノ姓名ヲ讀上ケルヤ、體ヲ崩シ聲ヲ噴ラシテ諸君ト吾ニ外飲ムコトノ出來ナイ水ヲ飲ンダノアル（笑聲起ル）實ニ此行動ヤ甚ダ卑鄙シキコトア、其動作ト云フモノハ私ハ席上ニ居テ彼ノ動作ヲ見テ甚ダ小穢千萬ト云フ感ヲ起シテ疳穢ニ障シテ見テ居シタノアリマス、勿體ナクモ諸君ト吾ハ——勿體ナクモ吾ミハ（笑聲起ル）面モ、陛下ノ赤子タル日本帝國ノ臣民ヲ代表スルトコロノ者アル、其人ニ對シテ斯カル行動トハ諸君如何ナコトアゴザイマセ、況ヤ守衛長ト云ヒ、下級書記官ト云ヒ、或ハ不倫ノ例か知リマセヌガ、一ツ之ヲ併模ニ倒ヘテ見タナラバ、彼等ハ嬌姪返リヲヤル役カ、若クハ馬ノ足ガ（漏場咲笑）體裁ノ良イ所ア申上ダマス（位ノ役ニシカ當テ居ラヌ、其者が爾モ社稷ノ大事ヲ讀スル勿體ナクモ吾ニ向シテ、何事アルカ、此點ニ向シテ讀長ハ確カ不問ニ附サル、コトデハナカラウ、少ナクモ之ニ對シテハ懲戒若クハ更迭、然ラザレバ注意位ハ與ヘナケレバナラヌモノアル、然ルニ尙且之ヲ不問ニ附スルト云フハ、吾ニ諸君同様ノ威信ヲ保ツ上ニ於テ、共同的ニ自守シナケレバナラヌモノデアラウト思フ、一昨日ノ議場ニ於ケル議長閣下ノ御同様ニ對シテ謝言セラレタコトハ、吾ニ一面ニ於テハ甚ダ御氣ノ毒ニ感ジタコロノ一人ナル、ソレト同時ニ一面ニ於テハ甚ダ氣味宜ク感シメモノアル、併シナガテ議長閣下ハ其過ヲ改ムルニ容ナラズシテ、磊々落々ノ眞情ヲ發セラレタノア、同情ノ感ニ堪ヘヌ、然ラバ則チ守衛長ノ如キ下級書記官ノ如キニ至シテハ、議長ニ於テサヘ左様デアルカラ況ヤ彼等ノ如キハ地ニ匍匐シテ吾ニニ謝サケレバナラスト思フ、斯ノ如キ行動ハ此處ニ持シテ居リマスガ、衆議院規定ニ違反シテ居ル現行犯アル、現行犯ニ對シテ何故ニ處分セバシテ居ラル、カ、處分セザルハドウ云フ譯デアルカ、或ハ又將來不聞ニ附サル、カ、此點ニ於テ議長ノ御明答アランコトヲ望ミマス

人アルト呼フ是ハ寧口守衛カラ何故押シマシタコト云フノガ、當然ダラウト思ヒマス（笑）聲起ル、澤來太郎君「其他ニ四五名アリマス」ト呼フ○議長（杉田定一君）澤君ノ御質問ニ對シ議長ヨリ御答致シマスガ、讀長ニ於キマシテハ別段ニ御詫ナウナコトデハナイヤリニ心得ア居リマスルガ、傍ナガラ唯今ノ御質問ニ對シマシテハ尙取調ヲ致シマスカラ左様御諒承ヲ願ヒマス——議事日程第一ニ移リマス公證人法案第一讀會ヲ開キマス——議案ノ朗讀ハ省略致シマス、松田司法大臣

公證人法案 第一 公證人法案（政府提出）

第一讀會

公證人法案 第一章 總則

第一條 公證人ハ當事者其ノ他ノ關係人ノ囑託ニ因リ法律行爲其ノ他私權ニ關スル事實ニ有公正ノ效力ヲ有セス

第二條 公證人ハ正當ノ理由アルニ非サレハ囑託ヲ拒ムコトヲ得ス

第三條 公證人ハ正當ノ理由アルニ非サレハ囑託ヲ拒ムコトヲ得ス

第四條 公證人ハ法律ニ別段ノ定アル場合ヲ際クノ外其ノ取扱ヒタル事件ニ關スルコトヲ得ス但シ囑託人ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 公證人ハ他ノ公務ヲ兼ネ商業ヲ營ミ又ハ商事會社若ハ營利ヲ目的トスル社團法人ノ代表者若ハ使用人ト爲ルコトヲ得ス但シ司法大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第六條 公證人其ノ職務ノ執行ニ付囑託人其ノ他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其ノ損害カ公證人ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生レタル場合ニ

第七條 公證人ハ囑託人ヨリ手數料、日當及旅費ヲ受ク

第八條 公證人ハ前項ニ記載シタルモノヲ除クノ外何等ノ名義ヲ以テスルモ其ノ取扱ヒタル事件ニ關シテ報酬ヲ受クルコトヲ得ス

第九條 公證人ハ其ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得ス

第十條 公證人ハ地方裁判所ノ管轄區域内ニ公證人ナキ場合又ハ公證人其ノ職務ヲ行

第十一條 公證人ハ本法及他ノ法令中公證人ノ職務ニ關スル規定ハ公證人ノ事務ヲ取扱ヒタル事又ハ裁判所書記ニ之ヲ準用ス但シ第七條ニ依ル手數料、日當及

第十二條 左ノ條件ヲ具備スル者ニ非サレハ公證人ニ任セラルコトヲ得

第十三條 公證人ハ司法大臣之ヲ任シ及其ノ屬スヘキ地方裁判所ヲ指定ス

各地方裁判所所屬公證人ノ員數ハ區裁判所ノ管轄區域毎ニ司法大臣之ヲ

定メ

第十四條 公證人ハ地方裁判所ノ所屬トス

第十五條 公證人ハ司法大臣之ヲ任シ及其ノ屬スヘキ地方裁判所ヲ指定ス

テ置キマス、私が過日議場ノ騒擾シタ場合ニ讀長ノ前ニ立ツタコトガアリマス、其時守衛ガ何カ物ヲ言ヒサウテアシタカテ、貴様ガワントナ物ヲ言出ス場合デナイト云フテ、自分ガ押シタコトハ覺エテ居リマスカ、守衛カラ私カ押サレタト云フコトハ覺エテ居リマセ（笑聲起ル）私ノタメ讀長ニ質問ヲ試ミラル、厚意ハ甚ダ謝シマスガ（澤來太郎君「外ニ四五

一 帝國臣民ニシテ成年以上ノ男子タルコト

二 一定ノ試験ニ合格シタル後六月以上公證人見習トシテ實地修習ヲ爲

レタルコト

試験及實地修習ニ關スル規程ハ司法大臣之ヲ定ム
第十三條 判事、檢事又ハ辯護士タルノ資格ヲ有スル者ハ試験及實地修習ヲ經スルテ公證人ニ任セラルコトヲ得
第十四條 左ニ掲タル者ハ公證人ニ任セラルコトヲ得
 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者但シ二年以下ノ禁錮ニ處セラレタル者ニシテ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス
二 破産又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者
三 禁治產者及準禁治產者
 懲戒ノ處分ニ因リ免官若ハ免職セラレタル者又ハ辯護士法ニ依リ除名セラレタル者ニシテ免官、免職又ハ除名後二年ヲ経過セサル者
第十五條 司法大臣ハ左ノ場合ニ於テ公證人ヲ免スルコトヲ得
一 公證人免職ヲ願出テタルトキ
二 公證人期間内ニ身元保證金又ハ其ノ補充額ヲ納メサルトキ
三 公證人身體又ハ精神ノ衰弱ニ因リ其ノ職務ヲ執ルニト能ハサルニ至リタルトキ
 前項第三號ノ場合ニ於テハ所屬地方裁判所ヲ管轄スル控訴院ニ於ケル懲戒委員會ノ議決ヲ經ヘシ
第十六條 公證人第十四條第一號乃至第三號ニ該當スルニ至リタルトキハ當然其ノ職ヲ失フ

第三章 職務執行ニ關スル通則

第十七條 公證人ノ職務執行ノ區域ハ其ノ所屬地方裁判所ノ管轄區域ニ依ル
第十八條 公證人ハ司法大臣ノ指定シタル地ニ其ノ役場ヲ設クヘシ
 公證人ハ役場ニ於テ其ノ職務ヲ行フコトヲ要ス但シ事件ノ性質カ之ヲ許サル場合又ハ法令ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス
 公證人ハ其ノ役場内ニ住居スヘシ但シ司法大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス
第十九條 公證人ハ任命ノ辭令書ヲ受ケタル日ヨリ十五日以内ニ所屬地方裁判所ニ身元保證金ヲ納ムヘシ
 身元保證金ノ額ハ土地ノ情況ニ從ヨ三百圓以上千圓以下ノ範圍内ニ於テ身元保證金ノ額ニ不足ヲ生シ補充ノ命令ヲ受ケタルトキハ其ノ命令ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ不足額ヲ補充スヘシ
第二十條 身元保證金ヲ納メサル間ハ其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス
 司法大臣之ヲ定ム
身元保證金ノ額ニ不足ヲ生シ補充ノ命令ヲ受ケタルトキハ其ノ命令ヲ受
ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ不足額ヲ補充スヘシ
公證人 身元保證金ヲ納メサル間ハ其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス
第二十一條 身元保證金ヲ還付スヘキ場合ニ於テハ其ノ身元保證金ノ上ニ権利ヲ有スル者ニ對シ六月ヲ下ラサル期間内ニ申出ツヘキ旨ヲ公告スヘシ
身元保證金ハ前項ノ期間ヲ経過スルニ非サレハ之ヲ還付セス
第二十二條 公證人ハ左ノ場合ニ於テ其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス
 諸託人、其ノ代理人又ハ囑託セラレタル事項ニ付利害ノ關係ヲ有スル者ノ配偶者、四親等内ノ親族又ハ同居ノ戸主若ハ家族タルトキ族關係カ止ミタル後亦同シ

二 嘘託人又ハ其ノ代理人ノ法定代理人又ハ保佐人タルトキ
三 嘘託セラレタル事項ニ付利害ノ關係ヲ有スルトキ
四 嘘託セラレタル事項ニ付代理人若ハ輔佐人タルトキ又ハ代理人若ハ輔佐人タルシトキ
第二十三條 公證人職務上署名スルトキハ其ノ職名、所屬及役場所在地ヲ記載スヘシ
二十四條 公證人ハ所屬地方裁判所長ノ認可ヲ受ケテ筆生ヲ置キ執務ノ補助ヲ爲サシムルコトヲ得
 前項ノ認可ハ必要ナル場合ニ於テハ何時ニテモ之ヲ取消スコトヲ得
二十五條 公證人ノ作成シタル證書ノ原本、其ノ附屬書類及法旨ニ依リ公證人ノ調製シタル帳簿ハ事變ヲ避クル爲ニスル場合ヲ除クノ外之ヲ役場外ニ持出スコトヲ得ス但シ裁判所又ハ豫審判事ノ命令又ハ嘱託アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス
第二十六條 公證人ハ法令ニ違反シタル事項、無効ノ法律行為及無能力ニ因リテ取消スコトヲ得ヘキ法律行為ニ付證書ヲ作成スルコトヲ得ス
第二十七條 公證人ハ日本語ヲ用ウル證書ニ非サレハ之ヲ作成スルコトヲ得ス
第二十八條 公證人證書ヲ作成スルニハ嘱託人ノ氏名ヲ知リ且之ト面識アルコトヲ要ス
 公證人嘱託人ノ氏名ヲ知ラス又ハ之ト面識ナキトキハ其ノ本籍地又ハ寄留地ノ市區町村長ノ作成シタル印鑑證明書ヲ提出セシメ其ノ人達ナキコトヲ證明セシムルコトヲ要ス但シ嘱託人外國人ナルトキハ警察官吏又ハ帝國ニ駐在スル本國領事ノ證明書ヲ以テ印鑑證明書ニ代フルコトヲ得急追ナル場合ニ於テ公證人法律行為ニ非サル事務ニ付證書ヲ作成スルトキハ前項ノ手續ハ證書ヲ作成シタル後三日内ニ證書ノ作成ニ關スル規定ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得
 前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ證書ハ急追ナル場合ニ非サルカ爲其ノ效力ヲ妨ケラルルコトナシ
第二十九條 嘘託人日本語ヲ解セサル場合又ハ讐者若ハ鹽者其ノ他言語ヲ發スルコト能ハサル者ニシテ文字ヲ解セサル場合ニ於テ公證人證書ヲ作成スルニハ通常ヲ立會ハシムルコトヲ要ス
第三十條 代理人ニ依リ嘱託セラレタル場合ニ於テハ前二條ノ規定ハ其ノ代理人ニ之ヲ適用ス
第三十一條 代理人ニ依リ嘱託セラレタル場合ニ於テ公證人證書ヲ作成スルニハ其ノ代理人ノ權限ヲ證スヘキ證書ヲ提出セシメ其ノ權限ヲ證明セシムルコトヲ要ス
 前項ノ證書カ認證ヲ受ケサル私署證書ナルトキハ其證書ノ外其ノ署名者ノ本籍地又ハ寄留地ノ市區町村長ノ作成シタル印鑑證明書ヲ提出セシメルトキハ第二十八條第二項但書ノ規定ヲ準用ス
第三十二條 第三者ノ許可又ハ同意ヲ要スヘキ法律行為ニ付公證人證書ヲ作成スルニハ其ノ許可又ハ同意アリタルコトヲ證スヘキ證書ヲ提出セシメ其ノ許可又ハ同意ヲ證明セシムルコトヲ要ス

前條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第三十三條 公證人證書ヲ作成スルニハ立會人ヲ立會ハシムルコトヲ要ス
第三十四條 通事及立會人ハ囑託人又ハ其ノ代理人之ヲ選定スルコトヲ要ス
左ニ掲タル者ハ立會人タルコトヲ得ス

未成年者
第十四條 ニ掲ケタル者

自ラ署名スルコト能ハサル者

囑託事項ニ付利害ノ關係ヲ有スル者

囑託事項ニ付代理人若ハ輔佐人タル者又ハ代理人若ハ輔佐人タル

者
公證人又ハ囑託人若ハ其ノ代理人ノ配偶者、四親等内ノ親族、同居ノ

戸主若ハ家族法定代理人、保佐人、雇人又ハ同居人

公證人ノ筆生

第三十五條 公證人證書ヲ作成スルニハ其ノ聽取シタル陳述、其ノ目擊シタル狀況其ノ他自ラ實驗シタル事實ヲ錄取シ且其ノ實驗ノ方法ヲ記載シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三十六條 公證人ノ作成スル證書ニハ其ノ本旨ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

證書ノ番號

二 囖託人ノ住所、職業、氏名及年齢若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

代理人ニ依リ囑託セラレタルトキハ其ノ旨及其ノ代理人ノ權限ヲ證書ヲ提出セシメ其ノ權限ヲ證明セシメタルコト竝其ノ代理

人ノ住所、職業、氏名及年齡

囑託人又ハ其ノ代理人ノ氏名ヲ知リ且之ト面識アルトキハ其ノ旨ノ許可又ハ同意アリタルコトヲ證スヘキ證書ヲ提出セシメタルトキハ其ノ旨及其ノ事由並其ノ第

三者ノ住所、職業、氏名及年齡若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

市區町村長ノ作成シタル印鑑證明書又ハ警察官吏若ハ領事ノ證明書ヲ提出セシメ人達ナキコト又ハ證書ノ真正ナルコトヲ證明セシメタルトキハ其ノ旨及其ノ事由

急迫ナル場合ニ於テ人達ナキコトヲ證明セシメサリシトキハ其ノ旨

八 通り立會ハシメタルトキハ其ノ旨及其ノ事由並其ノ通事ノ住所、職業、氏名及年齡

十九 立會人ノ住所、職業、氏名及年齡

二十 公證人證書ヲ作成スルニハ普通平易ノ語ヲ用ヰ字畫ヲ明瞭ナ

第三十七條 證書ニ文字ヲ挿入スルトキハ其ノ文字及其ノ箇所ヲ欄外又ハ末尾ノ餘白

接續スヘキ字行ニ空白アルトキハ墨線ヲ以テ之ヲ接續セシムヘシ

數量、年月日及番號ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ字ヲ用ウヘシ

二十一 證書ノ文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス

二十二 證書ニ文字ヲ挿入スルトキハ其ノ文字及其ノ箇所ヲ欄外又ハ末尾ノ餘白

記載シ公證人及立會人之ヲ捺印スルコトヲ要ス

除シタル字數及箇所ヲ欄外又ハ末尾ノ餘白ニ記載シ公證人及立會人之

捺印スルコトヲ要ス

前三項ノ規定ニ違反シテ爲シタル訂正ハ其ノ效力ヲ有セス

第三十九條 公證人ハ其ノ作成シタル證書ヲ列席者ニ讀聞カセ又ハ閱覽セレメ囑託人又ハ其ノ代理人ノ承認ヲ得且其ノ旨ヲ證書ニ記載スルコトヲ要ス

通事ヲ立會ハシメタル場合ニ於テハ前項ノ外通事ヲシテ證書ノ趣旨ヲ通譯セシメ且其ノ旨ヲ證書ニ記載スルコトヲ要ス

前二項ノ記載ヲ爲シタルトキハ公證人及列席者各自證書ニ署名捺印スル

列席者ニシテ署名スルコト能ハサル者アルトキハ其ノ旨ヲ證書ニ記載シ

公證人及立會人之署名捺印スルコトヲ要ス

證書ハ公證人又ハ立會人ノ契印ニ依リ其ノ全部ノ連綴明白ナル場合ニ於テハ前項ニ違反シタルカ爲其ノ效力ヲ妨ケラルコトナシ

第四十條 公證人ノ作成スル證書ニ他ノ書面ヲ引用シ且之ヲ其ノ證書ニ添附スルトキハ公證人及立會人其ノ證書ト添附書面トノ縦目ニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

前三條ノ規定ハ前項ノ添附書面ニ之ヲ準用ス

前二項ニ依ル添附書面ハ公證人ノ作成シタル證書ノ一部ト看做ス

第四十一條 代理人ノ權限ヲ證スヘキ證書、市區町村長、警察官吏又ハ領事ノ證明書、第二者ノ許可又ハ同意ヲ證スヘキ證書其ノ他ノ附屬書類ハ公證人ノ作成シタル證書ニ之ヲ連綴スヘシ

公證人及立會人ハ證書ト其ノ附屬書類トノ縦目及附屬書類相互ノ縦目ニ契印ヲ爲スヘシ

第四十二條 證書ノ原本滅失シタルトキハ公證人ハ既ニ交付シタル證書ノ本ノ全文ヲ謄寫シ滅失シタル證書ニ代ヘテ之ヲ保存スルコトヲ要ス

公證人滅失シタル證書ノ原本ノ全文ニ付前項ノ手續ヲ爲スコト能ハサル

トキハ有用ノ部分及證書ノ法式ニ關スル記載ノミニ付其ノ手續ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ證書ニハ第一項又ハ第二項ニ依リ謄寫シタル證書ナルコト及其ノ謄寫ノ年月日ヲ記載シ公證人及立會官吏之署名捺印スルコトヲ得

第四十三條 公證人ハ囑託人ヲシテ印紙稅法ニ依リ證書ノ原本ニ印紙ヲ貼用セシムヘシ

第四十四條 囑託人、其ノ承繼人又ハ證書ノ趣旨ニ付法律上利害ノ關係ヲ有スルコトヲ證明シタル者ハ證書ノ原本ノ閱覽ヲ請求スルコトヲ得

第二十八條 第一項及第二項、第三十條並第三十一條第一項及第二項ノ規定ハ前項ニ依リ公證人證書ノ原本ヲ閱覽セシムヘキ場合ニ之ヲ准用ス

公證人囑託人ノ承繼人ニ證書ノ原本ヲ閱覽セシムヘキ場合ニ於テハ承繼人タルコトヲ證スヘキ證書ヲ提出セシメ其ノ承繼人タルコトヲ證明セシムヘシ

第三十一條 第二項ノ規定ハ前項ニ依リ提出セシムヘキ證書ニ之ヲ準用ス

檢事ハ何時ニテモ證書ノ原本ヲ閱覽ヲ請求スルコトヲ得

第四十五條 公證人ハ證書原本ヲ謄製シ記入前其ノ所屬地方裁判所長ノ契印ヲ請フヘシ

地方裁判所長ハ其ノ枚數ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺

シ毎葉ノ綴目ニ職印ヲ以テ契印ヲ爲スヘシ

第四十六條 證書原簿ニハ證書ノ作成毎ニ進行ノ順序ヲ逐ヒ左ノ事項ヲ記

入スヘシ

一 證書ノ番號及種類

二 嘘託人ノ住所及氏名若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

作成ノ年月日

第三十七條及第三十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

前二項ノ規定ハ證書ノ作成ヲ記入スヘキ帳簿ニ關シ法令ニ別段ノ定アル

場合ニ之ヲ適用セス

第四十七條 嘘託人又ハ其ノ承繼人ハ證書ノ正本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第二十八條第一項及第二項、第三十條、第三十一條第一項及第二項並第四

十四條第三項及第四項ノ規定ハ前項ニ依リ公證人證書ノ正本ヲ作成スヘ

キ場合ニ之ヲ準用ス

第四十八條 證書ノ正本ニハ左ノ事項ヲ記載シ公證人之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

一 證書ノ全文

二 正本タルコト

三 交付ヲ請求シタル者ノ氏名

四 作成ノ年月日及場所

前項ノ規定ニ違反スルモノハ證書ノ正本タルノ效力ヲ有セス

第四十九條 故事件件ヲ列記スル證書又ハ數人各自ニ關係ヲ異ニスル證書ニ付テハ有用ノ部分及證書ノ方式ニ關スル記載ヲ抄錄シテ其ノ正本ヲ作成スルコトヲ得

第五十條 公證人證書ノ正本ヲ交付シタルトキハ其ノ證書ノ末尾ニ呪託人又ハ其ノ承繼人何某ノ爲正本ヲ交付シタル旨及其ノ交付ノ年月日ヲ記載シ之ニ署名捺印スヘシ

第五十一條 嘘託人、其ノ承繼人又ハ證書ノ趣旨ニ付法律上利害ノ關係ヲ有スルコトヲ證明シタル者ハ證書又ハ其ノ附屬書類ノ謄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第五十二條 第二十八條第一項及第二項、第三十一條第一項及第二項並第四十四條第三項及第四項ノ規定ハ前項ニ依リ公證人證書ノ謄本ヲ作成スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第五十三條 證書ノ謄本ニハ左ノ事項ヲ記載シ公證人之ニ署名捺印スヘン

第五十四條 前二條ノ規定ハ證書ノ附屬書類ノ謄本ノ作成ニ之ヲ準用ス

第五十五條 證書又ハ其ノ附屬書類ノ謄本ヲ請求スル者ハ之ニ記載スヘキ事項ヲ自ラ記載シ公證人ノ署名捺印ノミヲ請求スルコトヲ得

公證人前項ノ謄本ニ署名捺印シタルトキハ其ノ謄本ハ公證人自ラ之ヲ作成シタルト同一ノ效力ヲ有ス

第五十六條 證書ノ正本若ハ謄本又ハ其ノ附屬書類ノ謄本數葉ニ涉ルトキハ公證人ハ每葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ

第五十七條 及第三十八條ノ規定ハ證書ノ正本及謄本並其ノ附屬書類ノ謄

第五十九條 第五項及第六項ノ規定ハ私署證書ニ認證ヲ與フル場合ニ之ヲ準用ス

ヲ記載シ公證人及立會人之ニ署名捺印シ且其ノ證書ト認證簿トニ契印ヲ爲ス

第六十條 第二十六條乃至第三十四條、第三十七條、第三十八條並第三十九條第五項及第六項ノ規定ハ私署證書ニ認證ヲ與フル場合ニ之ヲ準用ス

第六十一條 公證人ハ認證簿ヲ調製スヘシ

第六十二條 第四十五條ノ規定ハ認證簿ノ調製ニ之ヲ準用ス

第六十三條 第六十二條 認證簿ニハ認證ヲ與フル毎ニ進行ノ順序ヲ逐ヒ左ノ事項ヲ記入スヘシ

第六十四條 認證ノ年月日

第六十五條 認證ノ年月日及第三十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六章 代理兼務及受繼

第六十六條 公證人疾病其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ職務ヲ行フコト能ハサルトキハ同一區裁判所ノ管轄區域内ノ公證人ニ代理ヲ嘱託スルコトヲ得

第六十七條 公證人前項ニ依リ代理ヲ嘱託シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ所屬地方裁判所長ニ届出シ其ノ代理ヲ解キタルトキ亦同シ

第六十八條 公證人前條第一項ニ依リ代理ヲ嘱託セス又ハ之ヲ嘱託スルコト能ハサルトキハ所屬地方裁判所長ハ同一區裁判所ノ管轄區域内ノ公證人ニ代理ヲ命スルコトヲ得

第六十九條 公證人ノ職務ヲ行フコトヲ得ルニ至リタルトキハ地方裁判所長ニ代理ヲ解クヘシ

第七十條 公證人ノ代理者前二條ニ依リ其ノ職務ヲ行フノ役場ハ代理セラルル公證人ノ役場トス

第七十一條 公證人ノ代理者職務上署名スルトキハ代理セラルル公證人ノ職氏名、所長必要ト認ムルトキハ其ノ指定シタル官吏ヲシテ遲滯ナク役場ノ書類

二封印ヲ爲サンムヘシ

第六十七條 公證人ノ死亡、免職、失職又ハ轉屬ノ場合ニ於テ直ニ後任者

ノ任命セラレサルトキハ所屬地方裁判所長ハ同一區裁判所ノ管轄区域内

ノ公證人ニ業務ヲ命スルコトヲ得

後任者其ノ業務ヲ行フコトヲ得ルニ至リタルトキハ地方裁判所長ハ前項

ノ業務ヲ解クヘシ

第六十八條 公證人ノ免職、失職又ハ轉屬ノ場合ニ於テハ後任者又ハ業務

者ハ前任者ト立會ヒ遲滞ナク書類ノ授受ヲ爲スヘシ

死亡其ノ他ノ事由ニ因リ書類ノ授受ヲ爲スコト能ハナル場合ニ於テハ後

任者又ハ業務者ハ所屬地方裁判所長ノ指定シタル官吏ノ立會ヲ以テ封印ヲ解キ書類ヲ受取ルヘシ

第六十九條 前條ノ規定ハ業務者カ書類ヲ更ニ他ノ公證人ニ引渡スヘキ場

合ニ之ヲ準用ス

第七十條 業務者職務上署名スルトキハ業務者タルコトヲ記載スヘシ

前任者又ハ業務者ノ作成シタル證書ニ依リ後任者カ其ノ正本又ハ謄本ヲ

作成スル場合ニ於テ署名スルトキハ後任者タルコトヲ記載スヘシ

第七十一條 公證人ノ死亡、免職、失職又ハ轉屬ノ場合ニ於テ定員ノ改正ニ

因リ後任者ヲ要セタルトキハ司法大臣ハ同一區裁判所ノ管轄區域内ノ公

證人ニ書類ノ引繼ヲ命スヘシ

第六十八條及前條第二項ノ規定ハ前項ニ依リ書類ノ引繼ヲ命セラタル

公證人ニ之ヲ準用ス

第七十二條 第六十六條、第六十七條、第六十八條第三項及第七十條第一項

ノ規定ハ公證人ノ停職ノ場合ニ之ヲ準用ス

業務者前項ニ依リ其ノ業務ヲ行フノ役場ハ停職者ノ役場トス

第七十三條 第六十八條及第六十九條ノ規定ハ區裁判所カ第八條ニ依リ公

證人ノ職務ヲ行フ場合ニ之ヲ準用ス

第七章 監督及懲戒

第七十四條 公證人ハ所屬地方裁判所長ノ監督ヲ受ク

地方裁判所長ハ區裁判所ノ一人ノ判事又ハ監督判事ヲシテ其ノ管轄區域

内ノ公證人ニ對スル監督事務ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第七十五條 司法大臣及控訴院長ハ司法行政ノ監督ニ關スル規定ニ遵シ公

證人ヲ監督ス

第七十六條 前二條ノ監督權ハ左ノ事項ヲ包含ス

一 公證人ノ不適當ニ取扱ヒタル職務ニ付其ノ注意ヲ促シ及適當ニ其ノ

職務ヲ取扱フヘキコトヲ之ニ訓令スルコトヲ得

二 職務ノ内外ヲ問ハス公證人ノ地位ニ不相應ナル行狀ニ付ニ諭告ス

ルコト但シ諭告ヲ爲ス前其ノ公證人ヲシテ聲明ヲ爲スコトヲ得セシムヘシ

第七十七條 督官ハ公證人ノ保存スル書類ヲ檢閱シ又ハ其ノ指定シタル

官吏ヲシテ之ヲ檢閱セシムルコトヲ得

第七十八條 諭託人又ハ利害關係人ハ公證人ノ事務取扱ニ對シ抗告ヲ爲ス

コトヲ得

前項ノ抗告ハ本章ニ掲ケタル監督權ニ依リ之ヲ處分ス

第七十九條 公證人職務上ノ義務ニ違反シタルトキ又ハ品位ヲ失墜スヘキ

前項ノ抗告ハ本章ニ掲ケタル監督權ニ依リ之ヲ處分ス

行爲アリタルトキハ懲戒ニ付ス

第八十條 懲戒ハ左ノ五種トス

一 千圓以下ノ過料

二 一年以下ノ停職

三 轉闖

四 免職

五 譴責

第八十一條 過料、停職、轉闖及免職ハ懲戒委員會ノ議決ニ依リ司法大臣之ヲ行フ

第八十二條 各控訴院ニ懲戒委員會ヲ設ク

第八十三條 公證人ノ懲戒手續ト刑事裁判手續トノ關係及其ノ職務停止ニ

懲戒委員會ニ關スル規程ハ其ノ職務停止ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十四條 過料ヲ完納セサルトキハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス

前項ノ執行ニ付テハ非訟事件手續法第二百八條ノ規定ヲ準用ス

公證人ノ納メタル身元保證金ハ第二十條第三項ノ場合ヲ除クノ外他ノ公

課及債權ニ先チテ之ヲ過料ニ充ツ

第八十五條 本法ニ於テ市區町村長ト稱スルハ之ヲ置カサル地ニ在リテハ

其ノ職務ヲ行フ吏員ヲ謂フ

第八十六條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十七條 公證人規則ハ之ヲ廢止ス

第八十八條 本法施行ノ際公證人タル者ハ別ニ任命ノ辭令書ヲ用井ス本法

ニ依ル公證人トシ其ノ役場所在地ヲ管轄スル地方裁判所ノ所屬トス

第八十九條 公證人規則ニ依リ公證人ノ設ケタル役場ハ本法ニ依ル役場ト

斯

第九十条 公證人規則ニ依リ差入レタル身元保證金ハ本法ニ依リ納メタ

ル身元保證金トス

第九十一条 公證人規則ニ依リ屬託セラレタル代理者又ハ業務者トス

任者ハ本法ニ依ル代理者又ハ業務者トス

第九十二条 本法施行前ニ著手シタル公證人ノ職務上ノ行爲ハ本法ニ依リ

之ヲ完結ス

第九十三条 本法施行前ニ著手シタル公證人規則第五十八條、第五十九條

及第六十一條ノ手續ハ本法ニ依リ之ヲ完結ス

第九十四条 太法施行前ニ公證人ノ事務取扱ニ對シテ爲シタル抗告ハ公證

人規則ニ依リ之ヲ完結ス

第九十五条 本法施行前ニ爲シタル公證人規則ニ違反

スルモノハ本法ニ依リ之ヲ懲戒ニ付ス但シ本法施行前ニ開始シタル罰

手續ハ公證人規則ニ依リ之ヲ完結ス

○司法大臣(松田正久君) 本案ハ現行公證人規則ヲ改正シテ公證人法案ヲ制定

セントスルコロノアリマス、現行ノ公證人規則ハ明治十九年ノ制定ニ係リマシテ

前項ノ抗告ハ本章ニ掲ケタル監督權ニ依リ之ヲ處分ス

第七十九條 公證人職務上ノ義務ニ違反シタルトキ又ハ品位ヲ失墜スヘキ

國會社會ノ狀態ガ大ニ變遷致シマシテ、此規則ノ規程が今日ノ事情ニ適合致サナイト

○口ガ、シキアルノテゴザイマス、就中彼ノ民法商法其他ノ諸法典が實施サレマシテヨリ

○此方、此公證人規則ト謂和ヲ缺クトコロノ點が多々ゴザイマス、故ニ現行公證人規則

ノ缺點ヲ補ハントスルトコロヨタシテ、此公證人法案ヲ提出致ス次第デゴザイマス、速ニ

御審議ノ上御聽聞アラントラ希望致シマス

○花井卓藏君 此公證人法案ハ可ナリ大ナル法律ニアリテ、此議會ニ於テハ條文ニ於テ「一番多イ法案ト思ヒマスカ」此現行ノ公證人規則ト本案トハ主義ニ於テ全ク異ナル點ガアリテ改正ヲサンルノアルガ、主義ノ點ニ於テ異ナル所ハナイガ、唯足ラヌ所ヲ補ツタト云フニ過ギナイガ、此法律ノ根本的改正ヲ企テル所以ノ理由ヲ確メテ置ク必要ガアルト思フ、フレカラ第一ニ現行ノ公證人規則ハヤハリ政府ニ於テ法律トシテノ御解釋ニアルカ、或ハ命令トシテノ趣意ニ御解釋ニアルカ、是ハ本案全體ニ對シテノ必要ト思ヒマス、第一ハ司法大臣ヨリ御答ヲ願ヒ、第一ハ法勸局長官が見エテ居リマスカラ、ソレヨリ御答ヲ願ヒマス

（司法大臣松田正久君登壇）

○司法大臣（松田正久君） 今、御質問ニ對シテ御答ヲ致シマスガ、主義ニ於テハ相違ガゴザイマズ、唯現行ノ公證人規則ノ缺點ト申スモノガ其全體ニ瓦ツタルノアリマスカラ、又ヲ唯修正ヲ致スト云フタケテハ完備ヲ期スル譯ニ至ラヌノアリマス、故ニ殆ド全體ニ瓦ツテ改正ヲ致シテ、一ノ法案ヲ制定致シタ譯ニアリマス

○花井卓藏君 第二ノ質問ノ御答ヲ願ヒマス

（政府委員法學博士岡野敬次郎君登壇）

○政府委員（法學博士岡野敬次郎君） 唯今、花井サンノ第二ノ御問ニ對シテ御答ヲ致シマスガ、私ノ記憶致シマスルトコロニ依レバ、現行ノ公證人規則ナルモノハ明治十九年ニ於テ法律ノ名義ヲ以テ發布セラシタモノアルト覺エテ居ルノアリマス、固ヨリ憲法前ノモノニアリマスルカラ、蓋シモ憲法施行後ノ法律ト同一ノ性質ノモノナイト云フコトハ明瞭テアリマスケレバ、皆ナガラ現行ノ規則中ニ於テ憲法施行以後ニアルナラバ法律ヲ以テ定ムベキ事項モアルノアリマスルカラ、即チ此十九年ノ法律ハ今日ニ於テ之ヲ改正スルニハヤヘリ法律ヲ以テスルノ必要アルト云フコトヲ御答致シタノアリマス

○議長（杉田定一君） 別段質問モ無イヤウテアリマスルテ、日程第二、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

（佐竹作太郎君登壇）

○議長（杉田定一君） 御異議ハ無イと認メマス、日程第三、間接國稅犯則者處分法

○議長（杉田定一君） 長谷場純孝君 本案ハ議長指名ノ委員十八名ニ付託セラレントラ希望致シマス

○議長（杉田定一君） 長谷場君發議ノ如ク議長指名十八名ノ委員ニ付託スルニ御異議アリマセスカ

（佐竹作太郎君登壇）

○議長（杉田定一君） 御異議ハナイト認メマス、日程第三、間接國稅犯則者處分法

○議長（杉田定一君） 議長ハ議長指名ノ委員十八名ニ付託セラレントラ希望致シマス

○議長（杉田定一君） 長谷場君發議ノ如ク議長指名十八名ノ委員ニ付託スルニ御異議アリマセスカ

第三回 間接國稅犯則者處分法中改正法律案（政府提） 第一讀會

（書記朗讀）

間接國稅犯則者處分法中改正法律案

第七條第一項中「所有者」ヲ「所有者又ハ所持者」ニ改ム

第八條ニ左ノ一項ヲ加フ

日沒前ヨリ開始シタル臨檢、搜索又ハ差押ニシテ必要アル場合ハ日沒後迄之ヲ繼續スルコトヲ得

第十四條中「但シ犯則者通告ノ旨ヲ履行スル資力ナシト認ムルトキハ直ニ告發スベシ」ヲ「但シ沒收品ニ該當スル物品ニ付テハ納付ノ由出ノミヲ爲スベキ旨ヲ通告スルコトヲ得」ニ改メ左ノ一項ヲ加フ

犯則者通告ノ旨ヲ履行スルノ資力ナシト認ムルトキハ前項ノ通告ヲ要ス

セス直ニ告發スベシ

第十六條ニ左ノ一項ヲ加フ

第十四條第一項但書ニ依ル通告ニ對シ犯則者通告ノ旨ヲ履行シタル場合ニ於テ沒收品ニ該當スル物品ヲ所持スルトキハ公賣其ノ他必要ノ處分ヲ爲ス迄之ヲ保管スルノ義務アルモノトス但シ保管ニ要スル費用ハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第十七條ニ左ノ一項ヲ加フ

犯則者ノ居所分明ナラサル爲又ハ犯則者書類ノ受領ヲ拒ミタル爲通告スルコト能ハサルトキ亦前項ニ同シ

（大藏大臣松田正久君登壇）

○大藏大臣（松田正久君） 本案ハ即チ間接國稅犯則者ノ處分法ノ改正案テアリマスルカ、現行法ニ依リマスルト犯則者ノ取扱上甚ダ不便ヲ感ズルコトガアルノアリマスル、故ニ之ニ改正ヲ加ヘテ其取扱上最モ便利ヲ得ントスルノ趣旨ニ外ナラヌノアリマス、誠ニ簡單ナモノアリマス、速ニ協賛ヲ願ヒマス

○議長（杉田定一君） 別段御質疑モ無イヤウテアリマスルテ、日程第四、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ニ移リマス

（佐竹作太郎君登壇）

○議長（杉田定一君） 議長指名ノ委員九名

○議長（杉田定一君） 長谷場君發議ノ如ク議長指名九名ノ委員ニ付託スルニ御異議アリマセスカ

（佐竹作太郎君登壇）

○議長（杉田定一君） 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

（佐竹作太郎君登壇）

○議長（杉田定一君） 御異議ハナイト認メマス、日程第五、鐵道敷設法中改正法

律案第一讀會ノ續、委員長佐竹作太郎君

（佐竹作太郎君登壇）

○議長（杉田定一君） 鐵道敷設法中改正法律案ノ委員會ノ結果ヲ報告致シマス、委員會ハ總チ全會一致ヲ以テ原案ニ可決致シマシタデアリマス、本會ニ於キマシテモ速ニ可

決確定セラレントラ希望致シマス

（佐竹作太郎君登壇）

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ一讀會ヲ開キマス

軍艦水雷艇補充基金組入ニ關スル法律案

確定議

○議長(杉田定一君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定シマシタ、日程第

八事業公債條例中改正法律案第一讀會ノ續、委員長前島元助君

事業公債條例中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長)

事業公債條例中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長)

○前島元助君 極ク簡単ナルモノデゴザイマスカラ此席ヨリ御報告致シマス、事業公債

條例中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、是ハ極ク簡単ナモノニ

モ拘ハリマセヌ、委員會ハ都合三回程開キマシテ審議ノ結果全會一致ヲ以テ本案ヲ可

決致シマシタ、此段御報告致シマス

○議長(杉田定一君) 別段御議論モナイヤウデアリマスカラ採決ヲシマス、本案ノ二

讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○恆松隆慶君 本案モ直チニ一讀會ヲ開キニ一讀會ノ略シテ確定セラレントラ

ス

○議長(杉田定一君) 恒松君發議ノ如ク、直チニ一讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略ス

ルニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ一讀會ヲ開キマス

○議長(杉田定一君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

事業公債條例中改正法律案

確定議

○議長(杉田定一君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 本案モ直チニ一讀會ヲ開キニ一讀會ノ略シテ確定セラレントラ

ス

○議長(杉田定一君) 恒松君發議ノ如ク、直チニ一讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略ス

ルニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ一讀會ヲ開キマス

○議長(杉田定一君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

事業公債條例中改正法律案

確定議

○議長(杉田定一君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 本案モ直チニ一讀會ヲ開キニ一讀會ノ略シテ確定セラレントラ

ス

○議長(杉田定一君) 恒松君發議ノ如ク、直チニ一讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略ス

ルニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 別段御議論モナイヤウデアリマスカラ採決ヲシマス、本案ノ二

讀會ヲ開クト云フニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○恒松隆慶君 本案モ直チニ一讀會ヲ開キ、二讀會ノ順序ヲ略シテ確定セラレントラ

ス

○議長(杉田定一君) 恒松君發議ノ如ク、直チニ一讀會ヲ開キ、二讀會ヲ省略シテ

確定スルニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス直チニ一讀會ヲ開キマス

臺灣事業公債法中改正法律案

確定議

○議長(杉田定一君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 本案モ直チニ一讀會ヲ開キニ一讀會ノ略シテ確定セラレントラ

ス

○議長(杉田定一君) 恒松君發議ノ如ク、唯今委員長ヨリ詳細ノ説明モアリマシ

タ、ドウカ讀會ヲ省略シテ確定セラレントラ

ス

○議長(杉田定一君) 別段御異論モナイヤウデアリマスルデ採決ヲシマス、本案ノ一讀

會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 本案モ直チニ一讀會ヲ開キニ一讀會ノ略シテ確定セラレントラ

ス

○議長(杉田定一君) 恒松君發議ノ如ク、唯今書記官長手許マテ……

○議長(杉田定一君) 唯今書記官長手許マテ……

○議長(杉田定一君) 鹽專賣法中改正法律案第一讀會ノ續、委員長景山甚右衛門君

出アリマスガ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 鹽專賣法中改正法律案ハ委員長ヨリ延期致シタ伊ト云フ申

定セラレントラ

ス

○議長(杉田定一君) 異議ナシト認メマス、本案ハ延期スルコトニ致シマシタ——日程

第十二、衆議院議員選舉法中改正法律案、中西六三郎君外三名提出第一讀會ノ

續、委員長報告池松豐記君

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 異議ナシト認メマス、本案ハ延期スルコトニ致シマシタ——日程

第十二、衆議院議員選舉法中改正法律案、中西六三郎君外三名提出第一讀會ノ

續、委員長報告池松豐記君

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 別段御議論モナイヤウデアリマスカラ採決ヲシマス、本案ノ二

讀會ヲ開クト云フニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 本案モ直チニ一讀會ヲ開キニ一讀會ノ略シテ確定セラレントラ

ス

○議長(杉田定一君) 恒松君發議ノ如ク、唯今書記官長手許マテ……

○議長(杉田定一君) 唯今書記官長手許マテ……

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 本案モ直チニ一讀會ヲ開キニ一讀會ノ略シテ確定セラレントラ

ス

○議長(杉田定一君) 恒松君發議ノ如ク、唯今書記官長手許マテ……

○議長(杉田定一君) 唯今書記官長手許マテ……

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 本案モ直チニ一讀會ヲ開キニ一讀會ノ略シテ確定セラレントラ

ス

第十二（衆議院議員選舉法中改正法律案 第一讀會ノ續（委員長）
 中西六三郎君外三名提出）

○池松豐記君 是ヨリ報告致シマス、本案ハ委員會ニ於テハ滿場一致ヲ以テ原案通り可決致シマシタ、此段御報告ヲ致シマス

（「採決タ々ト呼フ者アリ」）

○議長（杉田定一君） 採決致シマス、本案ノ一讀會ヲ開クヤ否ヤニ付テ採決致シマス、本案ノ一讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシノ聲起ル」）

○議長（杉田定一君） 御異議ガナイト認メマス

○恵松隆慶君 直子ニ一讀會ヲ開カレントコトヲ望ミマス

○議長（杉田定一君） 恵松君（一讀會ダケテアズカ）

○恵松隆慶君 直子ニ一讀會ヲ開キ、議論ガナケレバ三讀會ヲ省略シテ、確定セラレントコトヲ望ミマス

○議長（杉田定一君） 恵松君發議ノ如ク、直子ニ一讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定スルニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシノ聲起ル」）

○議長（杉田定一君） 御異議ガナイモノト認メマス、直子ニ一讀會ヲ開キマス

第十二 未成年者飲酒禁止法案（根本正君提出）

○議長（杉田定一君） 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ
 （「異議ナシ異議ナシノ聲起ル」）

○議長（杉田定一君） 御異議ガナイモノト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマス

タ一日程第十三、未成年者飲酒禁止法案第一讀會ノ續——委員長根本正君

第一讀會ノ續（委員長）

○議長（杉田定一君） 御異議ガナイモノト認メマス、直子ニ一讀會ヲ開キマス

確定議

○議長（杉田定一君） 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシノ聲起ル」）

○議長（杉田定一君） 御異議ガナイモノト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマス

タ一日程第十三、未成年者飲酒禁止法案第一讀會ノ續——委員長根本正君

第一讀會ノ續（委員長）

○議長（杉田定一君） 御異議ガナイモノト認メマス、直子ニ一讀會ヲ開キマス

確定議

○議長（杉田定一君） 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシノ聲起ル」）

○福井三郎君 同意シタデスナ……ソレハ御目出タウゴザイマス

賛成アランコトヲ希望致シマス

（「賛成タ々反對ト呼フ者アリ」）

○福井三郎君 質問致シマス、小サナ聲テ聽エマセヌデシタガ、委員會ニ於テハ政府モ其案ニ同意スルト云フ御報告アタツヤウデスカ……

賛成アランコトヲ希望致シマス

（「賛成タ々反對ト呼フ者アリ」）

スルノアルノニ、喫煙禁止法案八年々罪人が殖エル——罪人が殖エルノガ即チ此法律ノ效果アルト云コトガ甚ダ私ニハ分ヌ、ソレヲ一ツ詳シ御説明ヲ願ヒタ、ソレカ

ラ今一ツハ外國ノ法律テ此未成年者ト云アヤウナモノニ、斯ノ如キ謂ハ道徳的ノ犯罪ヲ——犯罪ト云フ言葉ガ、私ハ既ニ適當テナイト思ヒマスガ——之ヲ取締ル上ニ於テア

タノ持テ御イデニアル事例ノ中ニハ無イト思ヒマスガ、直子ニ未成年者其者ヲ處罰スル、即チ其人間ヲ捕ヘテ肩書附ノ犯罪ハトシテシマウ法律ガアリマセウカ之ヲ一ツ承ツテ見タ、ソレカラ今一ツハ元ハ吉凶禮式トアリマシテ、今度ハ式典ト云フ文字ニナリマシ

タガ、式典ト云フ字ノ定義範囲ヲ承リタイ

○根本正君 第一ノ御質問ニ御答致シマス、唯今望月君ノ御言葉ノ中ニ甚ダ穩ナラ

ザル——吾ミノ最セ愛スルトコロノ青年ニ對シテ、ヤツラガト云フ言葉ガアツタガ、サウ云フコトハ本員ハ一言申シマセヌ、即チアナタハヤツラト云フヤウニ思ウテ居ルカラシテ、之ニ反對ナサルアラウト思フ（望月長夫君「サウヤマセ」、即チアナタハヤツラト云フヤウニ及バナイ、眞面目ニ問フノダ）ト呼フソレテ答辯スルノダガ、アナタノ言葉ニ斯フ言タト云フガ、言ヒモシ

ナイヤウナ野與ナ言葉ヲ使フノハ甚ダ宜シクナイ——ソレテ此種エルト云フコトハ、何モ其法ヲ犯ス人ガ多クナルノヲ喜ブト云フ意味テナクシテ、警察官ガ此法律ノ趣意ヲ段々了解シテ來テ、取締ガ出來ルト云フ意味テスカラシテ、即チサウ云フ者が眼ニ留メテ段々

蟹脚ガアタノデアリマスソレカラ第二ニハ外國ノ例アスガ、是ハ亞米利加ノ或ル洲ニ於テアハリ罰金ヲ取ルト云フ例ガアリマス、是ハ私が翻譯シテ既ニ持テ居リマスカラ、直接ニ上

ゲルヤウニ致シマセウ、ツレカラ今一ツハ……

○望月長夫君 何洲ノ何ト云フ法律ニ未成年者ヲ直チニ警察官方引張テ往フテ、ソレニ罪名ヲ附スルト云フ事例ガアルカ、私ハ知ラヌノデアルカラ承ハリタイ

○根本正君 併ナガラツレハ澤山アルノデアリマスカラ、一々記憶シテ居リマセヌ、追テ申上ゲマス、ソレカラ此式典ト云フコトデスガ、是ハ私ハ式典モ何モナイ方ガ宜シイケレドモ、此前一昨年ノ時分ニ吉凶禮式ノ場合ト云フコトヲ入レテ、委員會ヲ通過シタノデス、今年ハ其吉凶禮式ト云フト、如何ニモ廣クナシテ、吉ト云フモノハドウ云フモノデ、凶

ハドウ云フコト、分ラスコトニナリマスカラ、式典トナルト誠ニ事が狹クナリ、式ヲ舉ケルバカリ、之ヲ詳シク言ハ婚禮ヲスルコトノ式トスレハ婚姻ヲスル場所ダケテ、二々九度ダケニアタ次ノ部屋へ往フタ時分ニハ飲マナイ、式ヲスル場ダケテ他ノ座敷へ、行ツテ飲ムトカ、或ハ續ケルト云フコトテハナイ、全ク式ヲスルトキニ限ラコトデアリマス之ニテ御了解

テ御質成ヲ願ヒマス

○森田卓爾君 質問ガアリマス、委員長トシテ根本君ニ御尋致シマスガ、前回此案を

本會ニ現ハレマシタトキニハ、發題者が法律ナドノコトニ付テ素人デアルカラ、餘リ質問モ追第モシナカタ、所が今日テハ委員會ニ經過シテ參ソタノデ、少シ目鼻ノ付クコトニナ

ルダウト思シテ豫期シテ居ツダガ、私共ノ疑惑ハ今尙解ケナイ、ソレテ委員長ニ先づ御

尋致シマスガ、第一ニ全體此法律ニ云フ酒類ト云フモノハ何所マテノ範圍ヲ指スノデア

ルカ、是ハ酒類ト云フコトニ付テハ稅法ノ上モ餘程困ラテ亞爾格保兒ノ含有ノ程度ヲ以テ漸ク此酒類若クハ酒ト云フモノハ温別シテ、今日ハ難關ノ踏破シテ居ル然ルニ此

フ解釋ノ付カナイ漠然タル目的物ヲ捕ヘ來シテ、サウシテ刑罰一切ヲ行ハレルト云フヤウニ思ハレル、即チ此酒類ト云フモノハ何ヲ標準トシテ、ドノ範圍ノモノヲ御指シニナツタノ

アル是ガ一ツ、ソレカラ此法律ノ制ト致シテハ科料ガ重トシテ制定ニナツテ居ル、之ヲ取締ルニハ刑罰ノミテハ往カナリ、即チ飲用ノ器具ヲ行政處分ヲ以テ沒收スルト云フコ

トが制裁法ノ第二ニナクテ居ル、然ルニ此酒類飲用ニ對スル器具ト云フモノハ是ハ餘程範囲ノ廣イモノアリマスル、或場合ニ非常ニ貴重ナ、殊ニ日本ヲハ酒ヲ飲ム器具ニ於テハ非常ニ重キヲ置イテ居ル器具ガアル、之ヲ行政處分ヲ以テ裁判ヲ經ズシテ直ニ沒收スルト云フコトハ全體ドウ云フ觀念カラ——一般ノ刑法ノ總則ヲ離レテ、裁判ノ經過ヲ俟タズシテ、行政處分ヲ沒收スルヤウヲ突飛ナ法ハ日本ニハナイ、西洋ニセ思ラクナイト思フ、此新立法新刑罰法ヲ開カレタ根據ハ何レニアルヤ、モウ一ツアリマス、ソレカラ罰スル主體ガドウデアルカト云フト、先ツ幼年者自身ヲ罰シテ取締ヲ付ケル、ソレノミテハ足リナイカラ親權者ヲ罰シテ取締ヲ付ケル、尙足リナイカラ親權者ニ代シテ幼者ヲ監督スル者ヲ罰スル、若クハ親ニ代シテ止メナイ者ヲ罰スル、斯ウ云フコトニアル、此制止ト云フコトハ親ガ子供ノ酒ヲ飲ムヲ見テ止メナイ、見テ止メナノハ過失デモ故意デモ、ヤハリ斯ウ云フ書方デハ止メナイ以上ハ、之ヲ制止ヲシナイト云フコトニ見ナケレバナラヌ法律ノスル、之ヲ以テ此取締ノ目的ヲ達スルト云フノカ本案ノ趣意ノアウニ思フ、其罰スル原因ハ何カト云フト政府ハ幼年者ガ酒ヲ飲ムヲ見テ止メナイ、親ヲ解釋ニナシテ居ルガ、若シ左様ナコトヲ悉ク制止セザルモノトシテ罰スルト云フト、小供ヲ持シタ親ハ大抵悉ク裁判ニ附セナケレバナラヌコトニナルガ、斯様ナコトガ事實ノ上ニ遂行が出來ルト思ハル、ヤ否ヤ、最後ニ政府ニ向シテ殊ニ内務大臣、文部大臣、司法大臣、ニ向シテ問フノアリ、私ハ委員會ノ速記録ヲ見マシタケレドモ、根本君ノ言ハレルガ如ク明瞭ニ同意ヲ表セラレテ居ラヌガ、政府委員トテヨ年々破レルコトニ役ニ立タナイト思タカ知リマセヌガ、強テ不同意ヲ言ハスト云フヤウナ趣意ニ見エテ居ル、何レニ致シテモ積極ニセヨ、消極ニセヨ、斯様ナ效ノ舉ラナイ法律ヲ拵ヘルト云フコトニ付テ、苟且ニモ司法大臣ナリ文部大臣ナリ内務大臣ガ年々歳々起シテ來ル、殆ド衆議院ニ於テハ一ツノ笑ノ種トナシテ居ル法律ニ對シテハ、政府が同意ヲ表スル筈ガナイト思フ、ドウ云フ譯テ積極ニセヨ消極ニセヨ政府ハ此案ニ同意ヲ表セラレタカ

○根本正君 御答致シマス 酒飲ト云フモノハ日本ノ酒或ハ「ビール」、亞爾格保兒ノ這入ルモノテ、即チ政府が稅ヲ取ッテ居ル酒類アリマス、ソレヨリ以上ノモノハ——即チ普通ノ常識ノアル者ハ何が酒類アリカト云フコトハ御分リニナリマスカラシテ、モウ能ク御承知アラウト思フ、宜シク御了解ニナリヤウニ致シタク、ソレカラ器具其他ノ御質問デアリマスガ、是ハ未成年者喫煙禁止法案ニ倣ヒマシテ、即チ喫煙ノ方デモヤハリ是ハ沒收シテ居リマス、森田サンノ御意見アハ器具ト云フモノハ酒藏酒道具モアリサウニ如何ニモ大袈裟ナ御見込ア御質問アリマスガ、此器具ト云フモノハ益トカ何トカ云フモノテ、唯其處ニアルトコロノ極ク狹ト意味アリマス、固ヨリソレハ儀式ノトキア式場ニ限ル譯アル、ソレカラ終リニ政府委員が御答ニナクメハ……

○森田卓爾君 制止スルト制止セザルトノ程度ハ

○根本正君 ソレハ、ヤハリ喫煙ノ方ニモアタテ、未成年者アルカラ親モ之ニ注意スベキモノアル、親ガナカタナラハ其代リノ人が注意スベキモノアル

○森田卓爾君 制止スルト制止セザルトノ程度

○根本正君 其程度ハ即チ始り前ノコトデ分リマスカラ——是ハ政府委員ニ代シテ答キモノアル、親ガナカタナラハ其代リノ人が注意スベキモノアル

○森田卓爾君 制止スルト制止セザルトノ程度

○根本正君 其程度ハ即チ始り前ノコトデ分リマスカラ——是ハ政府委員ニ代シテ答キモノアル、親ガナカタナラハ其代リノ人が注意スベキモノアル

○森田卓爾君 制止スルト制止セザルトノ程度

○根本正君 簡單ニ御答ラシマス、唯今花井君カラノ誠ニ御親切アリマスガ、併ナ辯スルノデナカレドモ、政府委員が言ハナイヤウニ言タカラ、是ハ政府委員ニ代シテ言テ置キタク、此處ニ書イテアル「教師が學校ニ於テ頻リニ説諭ヲ致シマスル、其説諭が學校外ノ取締ト相應シテ未成年者ノ飲酒ニ耽ケルコトヲ防止スル上ニ於テ、必丈多大ノ效力ガアラウト私ハ信シテ居リマス」——「必丈多大ノ效力ガアラウト私ハ信シテ居リ、是ハ宜シト云フコトニアリマス」
（政府委員法學博士岡野敬次郎君登壇）

○花井卓藏君 質問デス

○議長（杉田定一君） 質問ナラ宣シ

○花井卓藏君 フレデハ質問ヲ致シマス

○花井卓藏君 質問デスカ

○花井卓藏君 意見ヲ述ヘタイノアリマス

○議長（杉田定一君） 通告ガアリマス

○花井卓藏君 フレデハ質問ヲ致シマス

○議長（杉田定一君） 質問デスカ

○花井卓藏君 質問ナラ宣シ

○花井卓藏君 根本君ニ質問ヲシマス、私ハ根本君ノ案ニ付アハ、曾テ反対アリタケレドモ、御趣意ニ於テハ至極同情ラ表ス、未成年バカリテハゾサイマセヌ、成年以上ニ相成リマシテモ酒ヲ飲ムト云フコトハ分シテ居ル、併ナカラ唯今岡野君ニ述ベラレマシタ通り、斯ノ如キ家庭問題、斯ノ如キ道德問題、斯ノ如キ學校問題ト混同スルト云フコトハ、根本君トシテハ立法上ニ知識ノ上ニ於テ、其他ニ御譲リニナランケレバナルマイト思フ、此點ニ於テハ甚ダ私ハ同情ヲ表スルノアリマスガ、根本君ノ目的ヲ達スルニハ、未成年者ガ酒ヲ飲マニヤウニ取締サヘ行届ケバ宜カラウト思ヒマス、根本君が數年來熱心ニ此案ヲ出シテ居ル、當局ニ向シテ、取締ノ嚴ナランコトヲ望シテ居ルト云フコトハ、十分ニ注意ラシナケレバナラヌ、然ルニ政府ハ何時迄モ根本君ガ立法問題トシテ、斯ル些細ナルコトヲ持出サナケレバナラヌト云フノハ、即チ取締ヲ怠ニ居ルカラアル、故ニ政府が今日此場ニ於テ學校及家庭其他ニ於テ取締ルベキ趣旨ヲ十分ニ監督スルヤウニ、今後注意ヲ加ヘテ取締ヲ致スト云フコトニセラレタナラバ、根本君ハ執拗ナ人デナカク、第何條ト云フヤウナコトヲ書イタコロ、格別效能ノアル譯テハナイカラ、左様ニ政府者ガ御答ニナシタナラバ、此處ニ根本君ハ此案ヲ御取下シニ相成ルノアリマスカ、御取下シニナラヌノアリマスカ、是が質問アル、此場ニ於テ立法問題トシテ拙者ガ反対アル、不不同意アルト云ウテ論議スベキモノアヘナ、本員不肖ナガラ質問ノ序ニチヨリト意見ヲ付シテ置キマス

○根本正君 簡單ニ御答ラシマス、斯ノ如キ法案ハ最モ文明國ニ行ハレテ居ルモノアル、野蠻國ニハアリマセス、故ニ之ニ反対ナサル御方ハ、今日ノ如キ知識ノ無キ國民ニハ此法律ガ行ハレナイト云フノ理由ヲ以テ反対ヲサレル、所が昔無ガタケレドモ英吉利テハ八年前ニ設ウ云フ法律が出來、亞米利加デモ或地方ニ依テハ出來テ居リマスル、故ニ教育ノコトニ付テモ、出來得ル限り取締リ、行政官モ取締ルベシ、又出来得ル限り法律ニ於テモ、ヤルヘシ、又出来得ルダケ家庭ニ於テモヤルベシト云フノが、是が文明國ノ爲スペキコトデ、何レノ國ニ於テモ善イコトハ善イノデ、惡イコトハ何處迄モ防グト云フコ

トガ、即ち忠君愛國本義アリマス、故ニ是ハ花井君が世界萬國ノ法律ヲ今少シ多ク御覽ニナシテ、御判定ヲ望ムアリス
○花井卓藏君 根本君ノ最後ノ一言ニ、此案ノ目的ハ忠君愛國ノ本義ヲ完ウスルノアル、其忠君愛國ノ本義ヲ完ウスルノガ道徳問題アルカラ、或程度マテ法律アリタイト云フ、斯ウ云ア理由テ、根本君ハ亞米利加ノ例ヲ引カレマシタガ、堂々タル議會ニ於テ酒ヲ飲ムトカ云フコトニ付テ、宗教ノ勢力ノ大ナル所デハ、一般ニ斯ノ如キコトハ極メテ居ラヌノアル、斯様ナル法律ノコトニ付テハ、根本君ハ少々御遠慮ニナツタラ宜カラウト思ヒマス

○根本正君 花井君ハ海外ニ法律ガ無イ〔法律ハ知テ居ルト呼フ者アリ〕千九百一年一月十何日カ國法ニナシテ居リマスカラシテ、決シテ一地方ノ法律デハアリマセス、ドウカ滿場一致ヲ以テ御賛成ヲ願ヒマス

(森本駿君登壇)

○森本駿君、諸君、私ハ反対ノ意ヲ表明致シマス、先程我が敬愛スルトコロノ政友根本君が未成年者飲酒禁止法ヲ提出セラレテ、而シテ又委員長ノ報告ヲ此壇デセラレマシタ、之ヲ謹聽シタノアリマス、然ルニ私ノ見ルトコロヲ以テシマスルト、若シ根本君ニシテ禁酒主義ヲ執フル、ナラバ、何故ニ未成年者ト云フ四字ヲ上ニ加ヘルヤウナル御遠慮ヲナサクカト云フコトヲ甚ダ惜ムノアル、此案ハ諸君モ御承知ノ如ク、毎年提出セラレテ居ラテ、毎年記名投票ニ依シテ、當議場ハ毎年排斥シテ居ルトコロノ案アル、併ナガラ諸君ハ或ハ御承知ニナシテ居ルカ知レマセケレドモ、其記名投票ニハ今日迄私ハ一度モ加ハタコトハナイ人間アリマス、何故ニ此記名投票ニ私が加ハラナカタカト云ヘバ、我敬愛スルトコロノ政友根本正君カ、毎年ノ失敗ニ鑑ミテ最早反省セラル、時ガアルテアラウト思ウテ、敬意ヲ表シテワザト隨意問題タル此問題ニハ、私ハ何時モ投票ニ加ハラナカタカト云フコトハ、德義ヲ守ツタカラノアリマス、然ルトコロガ今年更ニ又此法律案が出来テ議場ノ問題トナツタ以上ハ、最早今年ハ議員ノ任期モ盡キテ、總選舉ガ目前ニアルト云フノアルカラシテ、任期ノ最末ニ於テハ私ノ意見ヲ表明シテ以テ遺憾ナガラ根本君ニ反対ノ意ヲ明カニスルト云フ必要ヲ感シテ、此處ニ登壇シタ所以アリマス、此案ニシテ若シ實行が出來ルナラバ、私モ反対ノ程度がモット高クナルノアリマス、而シテ實行ノ結果ハ歲入ヲ減ズルト云フヤウナル效果ヲ持ト云フコトヲ見ルトキニハ、更ニ國家財政ノ上カラシテ論及セヌケレバナラヌコト、考へタノアリマスケレドモ、此案ハ實行ガ出来ナイモノト信ジテ居ッタカラシテ、必シモ其投票ニ加ハル必要ナシト信ジテ、今日迄私ハ態ト投票ニ加ハルコトヲシナカタノアル、所が此實行ノ出來ナイ案が度々出テ而シテ議場ニ唯煩累ヲ及ボスト云フコトニ至ラヘ、吾々貴重ナル時間ヲ大ニ省略スル必要アリト信ズルノアリマス〔簡単ニスル上ニ於テモ一應ノ理由ハ明カニセネバナラシテ、諸君モ此演説ハ一ツ聽ク忍耐力ヲ諸君ニ請求シマス、併シ極く簡單ニヤリマス、モウ結論ハ立ツタ、反対アルトコロノコトダケ表明スレハ法ヲ姑ニ提出シテ、若シ是ガ通過シタナラバ、是ガ政府委員ノ説明ノ如クニ徒法ニ屬スセラレクトコロノ根本君が嘗テ未成年者喫煙禁止法ヲ提出セラレテ、是ハ既ニ法律トテ事ハ少シモ舉ラナイト云フ、結果ニナル、未成年者ガ酒ヲ飲マナカタラバ、成年者ハ酒ヲ飲マヌヤウニナルカト云フ、決シテ斯ノ如キ結果ヲ生ズルモノニアラズ、而シテ其結果

トシテ以テ、成年者ガ酒ヲ飲マヌヤウニナリマスルト云フ、日本ノ歳入ノ七分ノ一ハ減スルト云フコトヲ諸君ヘ記憶シナケレバナラナイノアルカラレテ、私ハ國家ノタメニ斯ノ如ク徒法ニ屬スルモノノ排斥シテ、而シテ十分ノ〔セヤク〕ト呼フ者アリ財政ノ維持ヲ諸君ニ希望スル所以アリマスカラシテ、是ハ斷然排斥セラレシコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 江原素六君登壇

(拍手起立)

○江原素六君 諸君、根本君年々歳々冷笑サルニ拘ハラズ、熱心ニ此案ヲ御出しナルコトニ付テ、御同様ニ其點ハ誰モ敬服スルノアルノアリマス、私ハ年々歳々御依頼ヲ受ケテ(笑聲起)賛成ヲ致シテ居リマシタガ、未だ曾ア此處ニ登ツタコトハアリマセヌ、元來未丁年者ノ酒ヲ飲ムト云フコトハ、善イカ惡イカト云フコトハ疑問デハアリマセヌ、確ニ惡イト極シテ居ルノデス、若シ果シテ惡イト極シタカラシテ、教育家宗教家竝ニ政治家ハシテ一日モ看過スベカラサルモノアルノアリマス(「セヤク」ト呼フ者アリ)未丁年者ノ飲酒ハ丁年以上ノ者ノ飲酒トハ全ク其趣ヲ異ニシテ居ルノアス、唯今櫻井君ハ酒ヲ禁ズルコトハ逆モ法律アハ如何アルカ知リマセヌガ、未丁年者ノ酒ヲ禁ズルコトハアルノアス、丁度昔曹操時代ニ酒が品行ヲ亂シ、身ヲ破ルカラ酒ヲ造ルコトヲ禁シヤウト云フトキニ、孔融ト云フ八ガ、酒ハ人ノ身ヲ破ルガ、女モ國ヲ破ル、城ヲ傾ケルカラ天下ノ婚禮ヲ禁シタラ宜カラウト云フコトヲ言出シタコトガアリマシテ、丁年以上ノ人ニ酒ヲ禁ズルコトハ逆モ法律アハ如何アルカ知リマセヌガ、未丁年者ノ酒ヲ禁ズルコトハ決シテ無用ナコトデハアリマセヌメノアス、元來未丁年ノ時ニ受ケルトコロノ習慣ハ生涯抜ケナイモノアルノアス、丁年以上ニ於テ飲ミシタ酒ハ、或ハ節スルコトモ或ハ止ムコルトモ出來マスガ、大抵未丁年ノ時カラ得マシタ習慣ハ、終身抜ケナイモノアルノアス、其證據ニハ近年酒ニ依テ生ズルトロコノ犯罪ノ數ハ、丁年以上ヨリハ丁年以下ニ多イコトハ諸君ガ疾クニ御存シテアラセラレルグラウト思ヒマス、酒ノタメニ犯罪ラスル者ハ、大抵ハ三十歳以下、ソレヨリ更ニ數ノ多イノガ二十五歳以下、更ニ二十歳以下ノ者ガ、犯罪者が多イノアルノアス、頻リニ教育ノコトヲ仰シヤル方モアリマスガ、蓋シ根本君ノ論ハ決シテ學校ノ生徒ノタメテハナカラウト思フノアス、日本多數ノ勞働者ガ丁年未満ニ於テ酒ヲ飲ミシケマスルト、生涯破落戸テ非常ナ墮落ラシテシマノノアリマス、元來是マテテレガ故ニ餘り勞働者ノ中ニ残ラズノ人が酒ノタメニ身代ヲ失し、或ハ身ヲ害スルト云フ者ハ、比較的妙ナカタノアルノアス、ソレ故ニ日本ノ勞働社會ノ有様ハ世界ニ類無キトコロノ良好ノ性質ヲ持テ居リマス、倫敦ノ如キデスマラ大抵五十四分ノ一位ハ貧窮日本ノ家庭ニ於テハ、貴賤ニ拘ハラズ、未丁年ノトキニ酒ハ飲ミマセヌテゴザリマシタ、ソニシテ公ノ費用ヲ以テ養ハレテ居ル、或ハ「ウエルス」ノ如キハ二十五分ノ一位ハ、公ノ費用ヲ以テ養ハレテ居ルト云フノニ、日本ニハ千人ニ一人、公ノ費用ヲ以テ補助サレルト云フヤウナ貧民ノ無イノハ、寔ニ目出度イ國柄アルノアス、然ルニ未丁年ヨリ酒ヲ自用ヲ以テ養ハレテ居ルト云フノニ増スト云フコトハ、甚ダ遺憾ナコトアリマスルノアス、殊ニ學生ニ於キシテモ其通り、學生ガ中學ヲ卒業ヲ爲シ、或ハ高等學校、大學ニ參リマシテ、死ヌル者云フヤウナ貧民ノ無イノハ、寔ニ目出度イ國柄アルノアス、然ルニ未丁年ヨリ酒ヲ自由ニ飲マセマシテ、ソレカ習慣トナシテ、多數ノ勞働者ガ或ハ健康ヲ害シ、或ハ貧困ニ陥ルコトノ分量ニ増スト云フコトハ、甚ダ遺憾ナコトアリマスルノアス、殊ニ學生ニ於キシテモ其通り、學生ガ中學ヲ卒業ヲ爲シ、或ハ高等學校、大學ニ參リマシテ、死ヌル者ガ甚ダ多クアリマスルガ、其中ニ半分以上ハ酒ノタメニ死ヌアルノアス、而モ其酒ハ大抵其原因ヲ調ヘマスレバ、未丁年ノトキカラ飲初メタ習慣ハ、ドウシテモ止ムコトノ出來ナインアルノアス、私が最モ愛スル漢寄鉄五郎君ノ保證ヲ以テ引受ケテ居リマシタガ、學生ガアリマシタガ、實ニ其人物ノ良キコト、學問ノ出來ルコトハ無類アリマシタ、高等

學校ヲ卒業ヲナシ、大學ニ入りマシタガ、併シ其人ガ未丁年ノトキカラ酒ヲ飲ミマシタメニ、始終懷中ニ正宗ノ體ヲ入レテ置イテハ、少シシ、甜メ居ルノテス、ドウモ小供ノ中カラノ習慣テ、ドウシテモ止メラレナイト云フノテ、終ニ此間酒ノタメニ死ンデシマヒマシタ、故ニ此未丁年者ノ酒ヲ飲ムト云フコトハ諸君ノ

家庭ノタメニ、實ニ大事ナ關係ヲ有スルノアリマス、併ナガラ酒ヲ法律ア禁ズルコトハ習慣上甚ダムツカシイノデアルケレドモ、チヨット支那人ガ阿片ヲ法律ア禁ズルコトヲ馬鹿モノアハナイト云フト、同ジャウニ、類リニ道徳論ヲ主張スル者ガアリマスガ、元來道徳ト云フモノ、制裁ハ、極メテ微々タルモノアリマス、吾々人類ハ殘念ナガラ道徳上ノ制裁ヨリハ、法律ノ制裁ヲ恐ル、者アルノデス、其證據ニハ嫌疑ヲ受ケテ未決權ニ參リマシタ者ガ、其監獄ニ往クコトヲ恐ル、コトハ恐ロシ者アルノデス、ドウカシテ無罪ニ成シテ監獄ニ往キタクナイト言シテ、非常ニ恐レル、道徳ノ方面カラ觀レバ、監獄ヘ往クヲ恐ル、コトハ極メテ滑稽デアルノデス、ナゼナレバ監獄ヘ引カレルヤウナコトヲ目論見タリ、考ヘタリス

コトヲ監獄ヘ往クヨリ恐レナケレバナラナイ筈アルノデス、然ルニソレハ少シモ恐レズシテ、嫌疑ヲ受ケテアリマス、即チ吾々マダ殘念ナ時代アリマシテ、道徳ノ制裁ヨリハ監獄ノ制裁ヲ恐ル、時代アリマスカラ、之ニ法律ヲ設ケテ、サウシテ是が禁併ナガラ或人ハ斯ノ如キ法律ヲ設ケル、犯罪者ヲ殖マスト云フコトヲ言ハレマスガ、ソレハ眞理アルノデス、苟モ法律ハ皆犯罪ヲ指ヘルモノアルノデス、「ヒヤ〜」ト呼フ者アリ、彌増スト云フ格言ノ如クニ、姦淫罪ト云フ法律ガナケレバ、姦淫シテモ罪デモ何デモナイ、竊盜罪ト云フ法律ガナケレバ、竊盜シテモ罪デモナイ、法律ハ必ズ罪ヲ指ヘルニ極マテ居ルノデス、故ニ之ヲ指ヘルハ犯罪者ガ出來ルト云フコトハ立法ノ眞理アルノデス、犯罪者ガアルタメニ法律ヲ指ヘルコトヲ恐ル、ナラバ、天下ノ法律ハ皆恐レテシマハナケレバナラヌ(拍手起ル)又此世ノ中ハ決シテ道徳ヤ宗教ノ力ヲ以テ開化發展ノ出來ルモノアハアリマセヌデス、維新前ニ安藤太郎ト云フ人人親爺が頻リニ種痘ヲ勧メマシテ避病院ヲ建ダテ豫防が出來ルカト云フニ、ソレハドウシテモ出來ナイノデアル、ドウシテモ社會ハ道徳ヤ宗教ノ力ヲ以テ改良が出來ル筈ハナク必ズヤ道徳家ノ言フコトヲ政治家ヤ立法家ガ是ヲ引受ケテ善ナルコトハ是ニ贊成ヲ表シテ、サウシテ是が實行ヲ促シテ、初メテ社會ノ改良が出來ルノテアリマス、徒ニ之ヲ宗教ノ領分或ハ教育ノ部分ト云フテ法律ノ關係スルコトナイト云フノハ極ク古リ論テアルノデス、昔ハ成程民ヲ導クニ政ヲ以テシ、之ヲ齊フルニ刑ヲ以テスレバ民免レテ愧ルナシト云フハ何千年前ノ昔ノコトデスか、今日ノ文明ハ道徳家宗教家ノ是トスルトコロニ立法家法律家が同意ヲ表シテ、兩々相俟テ一日モ早ク社會改良ノ完成ヲ期スルト云フノガ、今日ノ時勢アラウト思ヒマス、故ニ私ハ簡単ニ根本君ノ提出案ニ賛成ヲ表シマス(拍手起ル)

(討論終結)「採決タリト呼フ者アリ」
○議長(杉田定一君) 討論終結ノ動議が出来居リマス、討論終結ニハ別段御異議止メト言シテモ、ドウモ小供ノ中カラノ習慣テ、ドウシテモ止メラレナイト云フノテ、終ニ此間酒ノタメニ死ンデシマヒマシタ、故ニ此未丁年者ノ酒ヲ飲ムト云フコトハ諸君ノ

がナイヤウニアリマス、採決ヲスルコトニ致シマス、本案ノ一讀會ヲ開クヤ否ヤニ付テ採決シマス、本案ノ一讀會ヲ開クベシト云フニ御同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス
起立者

○議長(杉田定一君) 多數ト認メマス

(「少數タリ」「異議アリ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 多數ト認メマス

(「拍手起ル」「異議アリ」ト呼フ者アリ)

○恒松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

(「異議アリ」ト聲起ル)

○議長(杉田定一君) 議長ニ於キマシテハ多數ト認メマスガ、併シ少數ト云フ聲ガアリマスルデ、二讀會ヲ開クベカラズト云フ反對ノ御方ハ念ノタメニ起立ヲ願ヒマス

起立者

○議長(杉田定一君) 少數ト認メマス

(「多數タリ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 議長ニ於テハ少數ト認メマス

(拍手起ル「異議アリ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 異議ノ申立ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス——定規ノ贊成ガアリマスルデ(「已ムヲ得ズ」ト呼フ者アリ)斯ク相成シタ以上ハ(笑聲起リ拍手スル者アリ)記名投票ヲ以テ採決致シマス——閉鎖——本案ノ一讀會ヲ開クベシト云フ御方ハ白キ名札ヲ御持參ニナルヤウニ願ヒマス、本案ノ二讀會ヲ開クベカラズ、即チ本案反對ノ御方ハ青キ名札ヲ御持參ニナルヤウニ願ヒマス——點呼

(書記氏名ヲ點呼ス)

○議長(杉田定一君) 投票漏ハアリマセヌカ投票漏ハ無イト認メマス——開鎖

(書記官投票ノ數ヲ計算ス)
○議長(杉田定一君) 書記官長ヨリ投票ノ結果ヲ御報告致シマス

(林田書記官長朗讀)
出席總員二百五十二
(拍手起ル)

可トスル者百四十七
(參照)

出席總員二百五十二

否トスル者百零五

(拍手起ル)

(本案)第二讀會ヲ開クヘシトスル者

雄倉茂次郎君	田中喜太郎君	齋藤和平太君	上埜安太郎君	工藤吉君	瀬下秀夫君	上野瀬一郎君	河原林義雄君	木暮武太夫君	丹尾頼馬君
石谷傳四郎君	横田虎彦君	駒林廣運君	丹後直平君	松田吉三郎君	中山吉太君	内山吉太君	牧野元君	柳田阿部德二郎君	小林伸次君
山根正次君	田村順之助君	鳥山敬二郎君	牧野元君	鳥山米澤絅三郎君	柳田阿部德二郎君	鳥山海哲四郎君	柳田阿部德二郎君	柳田阿部德二郎君	柳田阿部德二郎君
浅羽靖君	鳥山敬二郎君	鳥山敬二郎君	元君	柳田阿部德二郎君	柳田阿部德二郎君	柳田阿部德二郎君	柳田阿部德二郎君	柳田阿部德二郎君	柳田阿部德二郎君
内山吉太君	吉三郎君	吉三郎君	吉三郎君	吉三郎君	吉三郎君	吉三郎君	吉三郎君	吉三郎君	吉三郎君
牧野井信君	竹越與二郎君	竹越與二郎君	元君	元君	元君	元君	元君	元君	元君
丹尾立川君	立川仲次君	立川仲次君	立川仲次君	立川仲次君	立川仲次君	立川仲次君	立川仲次君	立川仲次君	立川仲次君
西田作次郎君	西田作次郎君	西田作次郎君	西田作次郎君	西田作次郎君	西田作次郎君	西田作次郎君	西田作次郎君	西田作次郎君	西田作次郎君
頼馬君	頼馬君	頼馬君	頼馬君	頼馬君	頼馬君	頼馬君	頼馬君	頼馬君	頼馬君

二之ヲ所轄警察官署ニ届出テ及三日間内其ノ地方新聞紙ニ廣告スヘシ
所轄警察官署前項ノ届書ヲ受領シタルトキハ直ニ其ノ由ヲ選舉長ニ届出
フヘシ

第六條 選舉運動者ハ選舉事務所開設ノ後ニ非サレハ選舉運動ニ從事スル
コトヲ得ス

第七條 議員候補者及選舉運動者ハ公開ノ演説若ハ文書ニ依ルノ外何等ノ
方法ヲ以テスルヲ問ハス選舉人ヲ勧誘スルコトヲ得ス

第八條 議員候補者ハ選舉運動ニ要スル一切ノ経費ヲ豫算シ一時又ハ數次
ニ之ヲ其ノ選舉事務所ニ附託シ選舉運動者ニ保管セシムヘシ
議員候補者ハ選舉運動者ノ許諾ヲ經シテ前項ノ経費ヲ支出スルコトヲ
得ス

第九條 前條ノ経費ハ左ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ス
一、市及區ニ於テハ選舉人千人マテ五百圓、其ノ千人ヲ超ユルモノハ五百
百人ニ更ニ二百圓ヲ加フ其ノ五百人ニ滿タサルモノ亦同シ但シ最多
額二千圓ヲ超ユルコトヲ得ス

二、郡部ニ於テハ選舉人一萬人マテ千圓、其ノ一萬人ヲ超ユルモノハ五
千人ニ更ニ二百圓ヲ加フ其ノ五千人ニ滿タサルモノ亦同シ但シ最
多額三千圓ヲ超ユルコトヲ得ス

第十條 前二條ニ關スル收支計算ハ選舉運動者ニ於テ其ノ都度明瞭確實ニ
之ヲ記録スヘシ
第十一條 議員候補者以外ノ著選舉事務所ヲ設置シ及選舉運動者ヲ使用シ
タルトキハ二年以下ノ輕禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 檢事又ハ警察官吏ハ何時タリトモ選舉事務所ニ臨檢シ帳簿其ノ
他ノ書類ヲ検査スルコトヲ得

前項ノ検査ヲ拒ミ又ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ輕禁錮又ハ
百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條 何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハス選舉人ニ對シ其ノ投票セムトシ
又ハ投票シタル議員候補者ノ表示ヲ求メタル者ハ一年以下ノ輕禁錮ニ處

監察官吏ニシテ前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ二年以下ノ輕禁錮ニ處ス

第十四條 議員候補者又ハ選舉運動者ノ請託ニ依ルト否トヲ問ハス選舉ノ
投票ヲ周旋シ又ハ周旋セムコトヲ申込ミタル者ハ一年以下ノ輕禁錮又ハ
二百圓以下ノ罰金ニ處ス因テ報酬ヲ約束シ又ハ之ヲ收受シタル者ハ四年

其ノ請託ヲ爲シタル者亦前項ノ例ニ依リ處斷ス

第十五條 他人ノ當選ヲ妨害スル目的ヲ以テ自ラ其ノ選舉運動者ト詐稱シ
禁錮ニ處ス

第十六條 議員候補者交替被選ノ私約ヲ爲シ又ハ利益ヲ附與シテ候補者タ
ルコトヲ讓歩セシメタル者ハ二年以下ノ輕禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

因テ其ノ目的ヲ達シタルトキハ輕懲役ニ處ス

前二項ノ被害者ハ犯人ニ對シ選舉費用ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

第十七條 選舉事務ニ關係アル官吏公吏故ラニ其ノ職務ノ執行ヲ怠リ又ハ
職權ヲ濫用シテ選舉ノ自由ヲ妨害シ投票ヲ祕密ヲ侵害シ又ハ偏頗ノ措置
ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ輕禁錮ニ處ス

第十八條 選舉區ノ全部又ハ一部ニ瓦リ衆議院議員選舉法第十一章又ハ本
法ニ記載シタル犯罪アリタルトキハ内務大臣ハ其ノ選舉區若ハ選舉人ノ
全部又ハ一部ニ對シ選舉權ノ停止ヲ命スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ次ノ會期ニ於テ帝國議會ニ提出シテ其ノ承諾ヲ求ム
ルヲ要ス

第十九條 第四條ニ違背シタル者ハ一年以下ノ輕禁錮ニ處シ第五條第一項

第十條ニ違背シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條 議員候補者第一條ノ制限ヲ超過シ又ハ第二條第三條第七條ニ違
背シタルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

第二十一條 選舉運動者第六條第七條ニ違背シタルトキハ其ノ之ヲ使用シ
タルトキハ其ノ情ヲ知ラスト雖仍前條ノ例ニ依ル

議員候補者其ノ情ヲ知ルト否トニ拘ラス第四條ニ違背シタル者ヲ使用シ
タルトキ亦同シ

第二十二條 議員候補者第八條ニ違背シ又ハ選舉運動費第九條ノ制限ヲ超
過シ又ハ其ノ收支ノ記録虚偽ニ涉リタルモノアルトキハ何等ノ理由ニ拘
ラス其ノ當選ヲ無効トス

第二十三條 檢事ハ何時タリトモ投票所開票所又ハ選舉會ニ臨檢スルコト
ヲ得

第二十四條 本法ニ關スル犯罪ハ衆議院議員選舉法第一百一條第二條第三條ノ規定ヲ適用ス

附則

本法ハ次ノ總選舉ノ期日公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(高橋安爾君登壇)

○高橋安爾君 諸君、衆議院議員選舉取締ニ關スル法律案ノ大要ヲ説明致シマ
ス、現行法ノ施行以來既ニ三回ノ總選舉ヲ經過致シテ居リマシテ、其間ニハ幾多ノ補
缺選舉等モゴザイマシタルノアリマス、然ルニ申スマデモナク選舉界ノ狀態ト云ヘバ、一回
ハ一回ヨリ腐敗墮落ノ度ヲ加へ來リマシテ、今日ハ殆ド選ブヘカラザルノ狀態ニ陷リテ居
ル有様デゴザイマス、此ノ如クシテ今後尙改ムルトコロアリマセダンダナラバ、私ハ憲政ノ
基礎ニ於テ甚ダ憂フキ状態ニ陥リハシナイカト云コトヲ御承認シナケレバナル
シテ、其選舉場ニ於ケル狀態ハ申迄モナク親シク御承認ノコトアリマスカラ、私ハソレ
等ノ點ニ付テハ既返シテ申ス必要ハ無イト考ヘマス、併ナガラ本案ニ付テ一應申上ゲテ
置キタイトコトハ現行ノ選舉法罰則ノ第八十六條乃至第百五條是ト本案ノ規程ハドウ
モアリマスマ、殊ニ諸君ハ二十三年以來幾多ノ選舉場裡ニ馳騒セラレタ諸君アリマ
シテ、其選舉場ニ於ケル狀態ハ申迄モナク親シク御承認ノコトアリマスカラ、私ハソレ
マイト云アノデ、本案ヲ提出スルニ至リマシタ次第ゴザイマスガ、此案ノ内容ニ付キマシ
テハ數日前に既ニ諸君ノ御手許ニ出シテ居ルコトデゴザイマスカラ、詳シク説明スル必要
モアリマスマ、殊ニ諸君ハ二十三年以來幾多ノ選舉場裡ニ馳騒セラレタ諸君アリマ
シテ、其選舉場ニ於ケル狀態ハ申迄モナク親シク御承認ノコトアリマスカラ、私ハソレ
等ノ點ニ付テハ既返シテ申ス必要ハ無イト考ヘマス、併ナガラ本案ニ付テ一應申上ゲテ
置キタイトコトハ現行ノ選舉法罰則ノ第八十六條乃至第百五條是ト本案ノ規程ハドウ
モアリマスマ、殊ニ諸君ハ二十三年以來幾多ノ選舉場裡ニ馳騒セラレタ諸君アリマ
シテ、其選舉場ニ於ケル狀態ハ申迄モナク親シク御承認ノコトアリマスカラ、私ハソレ

峻嚴ヲ極メテ居ル、從來ノ取締法ニ比シマスレバ非常ナ嚴格ナル取締ノ手續ニナルノデ、ゴザイマス、第一ニ此選舉費用ノ制限ヲゴザイマス、選舉費用ノ制限ト申スノハ其最少額ニ付テ云ヘバ、市ニ在テ、若クハ區ニアタハ五百圓、ソレカラシテ市ノ最モ大ナルモノニシテ大阪、東京市ノ如キハ是ハ其制限一千圓ニ達シテ居リマス、其他ハ千圓以上ノモノガ僅カ五區アルバカリテ、之ヲ除キマスレバ悉ク千圓以下ノ市若クハ區ニナルノデゴザイマス、ソレカラ郡部ニアリマシテ、最少額が千圓、最多額ハ二千圓、尤モ此三千圓ノ最多額ニ相當スルモノハ、僅ニ三縣シカナイノデアリマシテ、他ハ悉ク二千圓前後ノ制限ニナリマスノデゴザイマス、費用ノ制限ヲ規定致シマス理由モ詳シク申上ゲル必要ハナイト思ヒマス、要スルニ此費用ノ増大スルノハ、詰リ弊害ノ増大スルノデゴザイマシテ、有ラユル弊害ヲ除去シヤウト云フ第一著ノ手段トシテ、ドウシテモ費用ヲ制限スル必要ガアルノデス、費用ヲ制限スルト云フ目的ノ中ニ種々ナル利益ヲ含ムノデゴザイマスルガ、是ハ幸ヒニ案ガ特別委員會ニ附セラレマスレバ、委員會ニ於テ十分ニ説明致ス考テゴザイマス、要スルニ費用ノ制限ト云フモノハ、最モ選舉界ニ於テ毒害ヲ流ストコロノ原因ハ何デアルカト申シマスレバ、申スマデモナク金ニアルコトゴザイマシテ、選舉者ハ勿論デアル、又候補者モ之ガタメニ非常ナ害ニ罹シテ居ルノデアル、當選シク其人ニ致シマシテモ、之ガタメニ此害毒ニ罹シタ結果ト云フモノハ、或ハ幾ド軟骨ニ化スル人モアル、或ハ全ク節操ヲ破ル人モアル、斯ウ云フ結果デアリマスルガ故ニ、取締ノ上ニ於テモ公正ヲ保全スルコトが出來ヌ、選舉ノ競争ノ上ニ於テモ正シキ競争ヲナスコトが出來ル、取締ノ簡易モ必要デアルト云フヤウナ點カラ致シマシテ、此費用ノ制限ト云フモノヲ市及區若クハ郡ト云フモノニ差別ヲ致シマシテ、各々其實狀ニ適シ得ルダケノ制限ヲ附シマシタ次第デアルノデゴザイマス、ソレカラ第二ニ新規ノ規程トシテ見ルベキモノハ候補者ノ當選無効、第三ニハ選舉區若クハ選舉人ノ選舉權ノ停止デアリマス、此事ハ如何ニモ新規ヲコトゴザイマシテ、頗ル重大ナ關係ヲ有スルノデアリマスルガ、是モ斯ノ如ク甚シキ弊害ヲ除去シヤウト云フノ手段ト致シマシテハ、ドウシテモ採用シナケレバナラスト云フ考デ、選舉區若クハ選舉人民ノ一部ニ對シテ選舉權ヲ停止スルト云フ制裁ヲ加フルノハ規程ヲ設ケマシタノデアリマス、ソレカラ選舉ニ關シマシテハ無論此選舉ニ關係アル公吏、若クハ官吏、斯ウ云フ者ノ取締ヲ新ニ致スコトモ必要デアリマスルガ故ニ、此點ニ付キマシテモ從來ノ罰則ヨリハ幾倍、峻嚴ナル制裁ヲ以テ、其取締方法ヲハ規定シテアルノデアリマス、最後ニ此一私人ノ選舉ニ關係スル規程モ多少其間ニ加ヘテアリマスルケレドモ、是ハ別ニ説明スル程ノ必要ハナイト考ヘマス、尙添ヘテ申シテ置キマスルガ、此案ハ各政派トモ多大ナル同情ヲ以テ、同感ヲ以テ歡迎シツ、アルノデゴザイマス、ソレ故ニ私ハ此案ノ通過ヲ期シテ疑ヒマセヌノデアリマスカ、併ナカラ此政府當局者ノ意嚮如何ト云フコトニ付キマシテハ、聊カ私モ憂慮ノ點ハアルノデス、是ハ御含ミマテニ説明ヲシテ置キマス、即チ此候補者ノ當選無効ト云フ中ニ、候補者ノ任用致シマシタモ同様反対ヲセラル、カモ知ラヌ、併ナガラ私ハ敢テ之ヲ大ナル障礙トハ認メマセヌノデアリマス、故ニ固ヨリ此案ハ完璧ナルモノト云フ譯アハゴザイマセヌカラシテ、委員會ニ於キマシテ十分ナル御調査ヲ願ヒマシテ、サウシテドウカ次期ノ總選舉ヨリ斯ノ如キ取締法ヲ以テ、選舉界ヲ清淨ニ致シ、併セテ

- 議員ノ健全ヲ期シタリト思フノデアリマス、若シヒトイ反対ガアリマシタナラバ、私ハ江原君ヲ願シテ御演説ヲ願ヒタトイト思フ
〔一人モ反対者ナシト呼フ者アリ〕
- 恒松隆慶君 本案ハ重大ナ問題デアリマスカラ、委員ヲ二十七名ト致シマシテ、議長ノ指名アランコトヲ望ミマス
〔「賛成々々ト呼フ者アリ〕
- 議長(杉田定一君) 恒松君發議ノ如ク、議長指名ノ二十七名ノ委員ニ付託スルト云フニ御異議ハアリマセヌカ
〔「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
- 議長(杉田定一君) 恒松君發議ノ如ク、議長指名ノ二十七名ノ委員ニ付託スルト云フニ御異議ハアリマセヌカ
〔「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
- 議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、其通り決シマシタ、日程第十五、衆議院議員選舉法中改正法律案第一讀會、議案ノ朗讀
○讀長(杉田定一君) 稽部四郎君 第十五 衆議院議員選舉法中改正法律案(稽部四郎 第一讀會)
〔書記朗讀〕
- 議長(杉田定一君) 花井君、何デスカ
○花井卓藏君 唯今ノ案ニ付キマシテハ私モ提出者ノ一人デアリマスカ、機部君ハ差支ガアルヤウテゴザイマスカラ趣意ヲ述ベヤウト思ヒマスガ、趣意ハ案ニ書イテアル通リテアリマスカラシテ、委員ニ付託セラレマシテ、鄭重ナ審議ヲ盡サレンコトヲ希望シマス
〔「賛成々々ト呼フ者アリ〕
- 議長(杉田定一君) 花井君、何デスカ
○花井卓藏君 唯今ノ案ニ付キマシテハ私モ提出者ノ一人デアリマスカ、機部君ハ差支ガアルヤウテゴザイマスカラ趣意ヲ述ベヤウト思ヒマスガ、趣意ハ案ニ書イテアル通リテアリマスカラシテ、委員ニ付託セラレマシテ、鄭重ナ審議ヲ盡サレンコトヲ希望シマス
〔「賛成々々ト呼フ者アリ〕
- 議長(杉田定一君) 恒松君發議ノ如ク、九名ノ委員ヲ議長ガ指名スルニ御異議ハアリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 本案ハ九名ノ委員ヲ議長ガ指名セラレンコトヲ望ミマス
〔書記朗讀〕
- 渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律案 第一條中「田畠」ノ下ニ「宅地山林原野沼池」ヲ加フ
○議長(杉田定一君) 武藤金吉君 第十六 法律案(武藤金吉君外一名提出)
〔書記朗讀〕
- 恒松隆慶君 到底是ハ即決ニナルベキモノデゴザイマセヌカラ、委員付託即チ九名ノ

委員ヲ議長が指名セラレンコトヲ望ミマス

〔「贊成々々ト呼フ者アリ」〕

○議長（杉田定一君）恒松君發議ノ如ク、議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」〕

○議長（杉田定一君）御異議がナイト認メマス、其通り決シマス、日程第十七、關稅定率法輸入税表中改正法律案、第一讀會、議案ノ朗讀

〔「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」〕

〔書記朗讀〕

關稅定率法輸入税表中改正法律案（東尾平太郎君外三名提出）

第一讀會

關稅定率法輸入税表中改正法律案

附則

關稅定率法輸入税表中左ノ通改正ス

二三子

棉子

無稅

本法ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

○議長（杉田定一君）東尾平太郎君

〔東尾平太郎君登壇〕

〔「委員附託」ト呼フ者アリ〕

○東尾平太郎君 關稅定率法輸入税表中改正法律案 是ハ昨年モ提出シマタ

ガ、極ク簡單ナ問題デアリマスカラ、簡單ニ其提出ノ理由ヲ述ベマス、現行法律ノ棉子

輸入稅十錢トアリマスルノヲ無稅トスルト云フ簡單ナ問題デアリマス、棉子ト云ヒマスル

ト、是ハ詰リ棉花ノ中ノ種子デアリマス、俗ニ棉ノ實ト稱ヘルモノアル、從來我國ニ於

キマシテハ一億万斤程ノ棉ノ實ガアリマシテ、之ヲ肥料ニ製造シテ關西地方テ多ク用井

タモノニアリマス、然ルニ此外國棉花輸入ノタメニ内地ノ棉作ガ非常ニ減退シマシテ、元

ト一億万斤ア、タ肥料原料ノ棉ノ實ガ唯今テハ千百万斤ニ減シテ居ル、僅ニ二十分ノ

一二減シタ——内地ノ生産ガ、故ニ近來支那地方テ棉ノ實ヲ輸入シテ、專ラ之ヲ肥料

製造ノ原料ニ用井マス、次第アリマス、今日支那地方カラ何程輸入スルカト云ヒマスレ

バ、五千七百万斤輸入シマス、内地ノ生産シマスル、棉ノ實ガ千百万斤、棉花ニ含マレ

テ來マス、棉花ノ輸入ガ千一百萬斤、全體ヲ合セマシテ是テ八千万斤、サウスルト從前ノ

二億万斤ニ對シマスルト、マダ十分ノ四ヨリナリマセヌ、而シテ從來ハ綠棉生棉ハ同様

從價稅五分ニ僅ニ四錢ニ厘、アリマシタガ、其後綠棉ト生棉ハ無稅ニナリマシテ、棉子

ニノミ今日ニナシテ尙十錢ノ從量稅ヲ課セラレテアリマス、ソコニ大體此輸入稅ノ課稅ノ

標準ヲ考ヘマスルニ、原料ハ總テ無稅ニスルト云フノガ原則ニナシテ居リマス、然ルニ一億

五千万斤輸入スル綠棉生棉ハ免稅アリマスガ、僅カ百万斤内外輸入スル此棉ノミニ

誤稅スルト云フノハ道理ニ合ハス、權衡ヲ失シテ居リヤリ方デアル、前ニ綠棉ト生棉ヲ免

稅スルニ當シテ、此棉ノ實モ免稅シナケレバナラナカツタノアリマスガ、其當時輸入ハ僅

僅タルモノニアリマシタカラ、ソレ等ノコトニ注意ヲ怠シタノテアリマス、斯ノ如ク今棉ノ實

ニ百斤十錢ノ課稅ヲシマスルがタメニ、支那人ハ棉ノ實ニ送ラズシテ、アッヂテ肥料ヲ持ヘテ

肥料ヲ送ジテ居リマス、一昨年支那地方カラ棉ノ實ガ輸入シタノハ八十二万五千斤テ

アリマスガ、支那ヲ製造シテ日本ニ送レバ無稅ニアリテ、棉ノ實ニ出セバ百斤ニ付テ十錢

ノ課稅ヲサレルノアリマスカラ、支那人ハ近頃ドンく、肥料ヲ持ヘテコツチニ送ルノア

リマス、是ハ誠ニヘンテコナ事デ、海關稅ノ原則ニ反シテ居ル、海關稅ノ原則ハ原料ヲ

無稅ニシテ製品ニ課稅スルノが原則デアリマスガ、原料ニ稅ヲ課シテ製品ニ對シテハ無稅ニスルト云フ反對ノ結果ニナシテ居リマスガ故ニ、近來支那地方カラ這入ル棉ノ實が段々減ジテ柏ニナシテ板柏ト稱ヘテ輸入シマス、其結果、全國ノ五百箇所以上ノ製造家が大ニ衰頹スルノミナラズ、支那柏ハ製造粗惡ニシテ價が不廉テアリマスカラ、農業家モ困難テ、若シ之ヲ此儘ニシテ置クナラバ、内地ノ工業ヲ衰微セシメ農業家ノ困難ヲ緩和シマスカラ、棉ノ實モ棉花ナリ又他ノ肥料同様ニ免稅ヲスルノガ正當アラウト信シマス、又今一千八百万斤ノ生棉ヲ輸入シマスガ、此生綿ノ中ニ含マレテ居ル棉子ハ總テ無稅デアリマス、然ルニ棉ノ實テ來ル棉子ニダケ課稅スルノハ道理ニ合ハナイコトデアリマスカラ、他ト權衡ヲ得サセシガタメニ無稅ニセシコトヲ希望致シマス、此問題ハ調查委員ヲ設ケマシテ十分調査セラレンコヤラ希望致シマス

〔「贊成々々ト呼フ者アリ」〕

○恆松隆慶君 本案ハ九名ノ委員、議長指名アランコトヲ願ロマス

○議長（杉田定一君）恆松君發議ノ通り、九名ノ委員、議長指名ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」〕

○議長（杉田定一君）御異議ハナイト認メマス——日程第十八、非常特別稅法中改正法律案第一讀會、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、島田三郎君

〔「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」〕

○議長（杉田定一君）恒松君發議ノ通り、九名ノ委員、議長指名ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」〕

○議長（杉田定一君）御異議ハナイト認メマス——日程第十八、非常特別稅法中改正法律案第一讀會、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、島田三郎君

〔「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」〕

○議長（杉田定一君）恒松君發議ノ通り、九名ノ委員、議長指名ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」〕

ナル訂正ヲ以てマシタラバ、縱令増税ヲ致サヌモノ、此税ヲ廢スルコトが出来ルノアルト本員ハ信ズルノデアル、又此基礎ヲ唯今ノ租税ノ方針ニ存シテ置キマスレバ、他ニ税源ガアリモ、アレバアルダケ不足ヲ補フタメニ益、税ヲ取ラケレバナラスト云フコトニナリマスカラ、依然トシテ惡税ト定マクタモノモ、廢セラレスト云フコトが事實上決定スペキ論點アルト本員ハ思フ、本員ハ不幸ニシテ少徵ノタメニ豫算案三敗ヲ取テ此豫算ハ成立致シマシタカラ、財政ノ根柢ニ向シテ何ノ爲ストコロノ餘地ハナカツノアリマスガ、唯今提出来シテ有ルトロノ織物税並ニ通行税ト云フモノヲ、實行スルトコロノ期限ハ四十二年度カラ之ヲ實行スルト云フノアリマスカラ、直チニ此税ヲ廢スルト云フニアラズシテ、四十二年度カラ實行スルノアリテ、來年度豫算ヲ議スルニ當テ大ニ此豫算ノ上ニ修正ヲ加ヘシタラバ、尙此税ヲ廢シテ餘リアル財政モ決シテ望ミ難キニアラズト推斷シテ居ル、若シ此事が行ハレズシテ、來年モ亦今年ノ如キ豫算ヲ決定スルニ至リマシタラバ、縱令此税ヲ此機会ニ存シテ置イテ織物ヨリシテ千九百餘万圓ヲ徵收スルモ、尚豫算ノ總額ニ於テ不足ヲ生スルト云フコトヲ本員ハ確信スルノアリマスカラ、此税ヲ廢スルト否ト云フコトハ、財政問題ノ根本ト相關聯スルトコロノモノニアリテ、唯今ノ豫算ト相合セザルトカ合スルトカ云フコトハ、議論ノ外ニ在ルノアリマスカラ、本員ハ豫ノ主張シテ居ルトコロノ國民ノ聲ハ此所ニ在リト信ズルガ故ニ、國民ノ代表會ニ於テ此聲ニ耳ヲ傾ケテ、サウシテ此惡税ヲ廢スルトコロノ希望ヲ確定シテ、クラ實行スルノハ四十一年度ニ於テモ尙可ナリ、トス様ニ思フノアリマス、其他通行税ニ至リテモ同様ノ觀察ヲアリテ、當局ガ此税ヲ決シテ真トハ日居ラヌ、僅ニ獨逸ニ於テ近年此税ヲ誤スト云フコトニナツカラ、歐羅巴諸國ニ此例ガアルト云フヤウナ意味合テ、此通行税ヲ撲滅シテ居ラル、ヤウニ本員ハ承テ居リマスケレドモ、獨逸ノ如何ト云フコトハ此論ニ關係ハ無クシテ現在ニ於テ人民ノ不便トスルト云フコトガ甚シケレバ之ハ廢スルト云フコトガ、最モ必要アルト思フノアリマス、本員ハ近年著シ日本ノ市街ノ發達ト云フコトヲ認メルノアルカラ、東京ニ見マシテモ現ニ三百萬ノ人口ニナリマシテ、非常ニ市街が擴シテ居リマスカラ、交通機器ヲ整理シテ、サウシテカラ遠キ及ボシマスレバ、遠キ所ニ住ムトコロノ營業モ市ノ中心ニ轉く出テ來ルコトガ出來ルト云フノデ、衛生ノ上ニモ市ノ整理ニ上ニモ極メテ必要ナノハ此遠キニ住シテ居ラテ、市ノ中心ニ轉く也テ來ルコトノ出來ル此交通機器ノ整頓ト云フコトヲ市ノ發達ノタメニ希望シテ居ルノアリマスガ、是が毎日僅カノ給料ニ生活シテ居ルトコロノ人が、廢イトコロノ地代ヲ錫ヒ、或ハ廢イトコロノ借地ノ上ニ家建テ、廉イ家賃ニ住シテ居ル者が、此人口ノ増エタルトコロノ都會ニ於テ中央三田テ參りヤスニ、毎日此通行税ヲ拂フト云フコトハ、目前ニ於テ最も不便テ最モ痛マシキコトデ、最モ生活ノ低イモノ、困ルトコロノ稅アリマス、其他一般ノコトニ於キマシテモ、文明ノ利器タル交通ノ便利ヲ破ルノアリマスカラ、極ク統率ナ撲滅ニ於テモ、通行税ト云フモノハ性質ニ於テ甚ダ喜ブカラザルモノアル、サウシテ其收入ハド程アルカト云フト殖エクト云フ豫算アタテ、今年現ハレテ居ルトコロノ數字ハ一百二十万圓バカリアリマスカラ、六億ノ大豫算ニ於テ二百三十三万圓ハ何レノ所ニ整備ヲ致シマシテモ、是ハ主張スルバカリアリマス、若シ此機會ニ於テ此主張、此整理ト云フモノが行ハレズシテ、不幸ニシテ唯今整理案トシテ委員ノ手ニ在リマストコロノ彼ノ諸法律が決定セラル、ニ至リマシタラバ、戰時ニ臨時ニ定タルトコロノ惡税が日本ノ永久ノ租税トナリテ、長ク國民ノ不便

ト國運ノ運達ヲ止メルトコロノ有害ナル結果ヲ現ハスノアリマスカラ、此機會ニ於テ断然臨時特別稅ノ中カラニ除カントコトヲ本員ハ切ニ希望スルノアルマス

○長谷場純孝君、兎ニ角本案ハ議長指名ノ二十七名ノ委員ニ付託シテ、サウシテ審議ヲ盡サレントコトヲ希望致シマス

(「贊成」下呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君)、長谷場君發議ノ如ク、本案ヲ議長指名ニ付託スルニ御異議ハ無イト認メマス、日程第十九、鹽專賣法廢止法律案第一讀會、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、早速整爾君

(「異議ナシ異議ナシ」の聲起ル)

○讀長(杉田定一君)、御異議ハ無イト認メマス、日程第十九、鹽專賣法廢止法律案第一讀會、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、早速整爾君

(「異議ナシ異議ナシ」の聲起ル)

第十九 鹽專賣法廢止法律案(早速整爾君外一名提 第一讀會

鹽專賣法廢止法律案
附則

本法ハ明治四十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(早速整爾君登壇)

(「簡單」「ヨク分ニテ居ル」ト呼フ者アリ)

○早速整爾君、諸君、此鹽專賣法廢止ト云フコトニ付属アヘ、能ク分ニテ居ルト議君仰シヤル如ク、實ハ能ク分ニテ居ナケレバ、ナラヌ皆テアル、非常特別稅ヲ設ケラレテ同時ニ此鹽專賣法ト云フモノヲ實施セラレタノテゴザイマスケレドモ、惡稅ト申シマスルカ、惡稅アル品ニ向シテ誠ニ奇酷ナル負擔ヲ被セシメ、殊ニ鹽ト云ヘル品物ハ人生ノ必要ナルモノテアルト、同時ニ國民ノ最大部分ヲ占メテ居ルトコロノ下級ノ細民トシテハ、最モ必要ヲ感ズル品物テゴザイマスガ、此品物ニ向シテ重キ負擔ヲ被ランメルト云フコトハ實ニ奇酷ナル一種ノ生活稅アルト云ハナケレバナラス、言換ヘテ見レバ特殊ノ細民稅アル、劣悪ナル人頭稅アル、私ハ人道ニ反スルトコロノ惡制度アルト叫ンダノアル、ケレドモ全ク人道ニ反スルト云フベキ劣悪ナル制度アルト断言シナケレバナラス、斯様ナル劣悪ナル制度アルト云フモナリ、總ノノ稅ガサウデハナイノアル、然ルニ此鹽ト云フモノハ、國民打擊ヲ與ヘ、殊ニ最下級ノ人民ニ向シテ非常ナル困難ヲ與ヘ、苦痛ヲ與ヘルトコロノ制度テゴザイマスカラ、之ヲ存置スルト云フコトハ、決シテ今日ノ國家トシテ之ヲ容認スルコトが出來ナイノアル、總ノノ稅ガサウデハナイノアル、然ルニ此鹽ト云フモノハ、國民ニ對シテ非常ニ苦痛ヲ與ヘルトコロノ惡性質ヲ帶ビテ居ル、而シテ一方ニ於キマシテハ、此生産ノ事業ニ向シテ打擊ヲ與ヘルトコロノ弊害ノアル制度アルシ、殊ニ貧民ノ生活ヲ苦メル結果ト致シマシテハ、自然勞動賃銀ヲ高メ直接ニ此生産事業ニ向シテ非常ナル利害ヲ譲シテ居ルト云フコトハ言フマテモナイ、政府ハ專賣法ニ依ラズナケレバ鹽業ノ保護ヲスルコトが出來ナイト云フコトヲ唱ヘテ居リマスルケレドモ、五千万ノ國民ヲ苦メ、而シテ鹽業ノ保護モ何モアタモノアル、是ハ本末輕重ヲ顛倒スルノ甚シキモノアルテ、國民ヲ苦メマテセ鹽業ヲ保護スルトハ何ノコトアル、鹽業ヲ保護スルト云フ方法ハ此專賣ト云フ惡制度アルトモ、他ニ幾ラモ處スベキ方法ハアルノテゴザイマスルニ拘ヘラズ、專賣ト云フノ惡制度ニ依ラズナケレバ誠ニ本末輕重ヲ顛倒スルノ甚シキモノアルテアリマス、若シ此機會ニ於テ此主張、此整理ト云フモノが行ハレズシテ、不幸ニシテ

業者ト云フ者ハ困難シテ居ル、當業者ニ迷惑ヲ與ヘテ今日デハ製造業者毛非常ニ困難スル結果、廢業スル者モ澤山出來テ來テ販賣者モ困難スル、鹽專賣法ノ改正案が出て居リマスケレドモ、彼ノ改正ヲシタ位ノコトデ此鹽業者ノ困難ヲ救フコトハ出來ルノデナク、即チ鹽業ノ保護ト云フケレドモガ、焉ア知ラソ鹽專賣法ト云フモノハヤハリ其當業者ヲ非常ニ苦メテ居ルノアル、又鹽專賣法ノ目的ト致シマシテハ品質ノ改良ヲ圖ルニハ專賣法が必要アルト唱ヘテ居ルケレドモ、鹽專賣法實施以來鹽ノ價ガ騰貴致シマシタトシテ居ルトコロノ鹽業ノ保護デアルトカ、或ハ品質ノ改良デアルトカ云フコトハニ需要ト云フモノガ、總テ劣等ノ品ニ移ツテ居ル、ソレガタメニ品質ノ改良ト云フコトハ少シモ目的ヲ達セラレナイ、專賣法實施以來今日ノ實驗ニ依リマシテ鹽ノ品質ヲ改良スルト云フコトニ付テハ、少シモ其目的ヲ達セラレテ居ラヌノアル、此故ニ政府ハ目的トシテ居ルトコロノ鹽業ノ保護デアルトカ、或ハ品質ノ改良デアルトカ云フコトハ法ニ依シテ之ヲシナケレバナラスト云フ理由ハ少シモナインノアル、一方ニ五千万ノ國民、殊ニ最下級ノ細民ヲ苦メルト云フ惡制度テサマイマスカラ、唯是ケノ言草ヲ以テ、此惡制度ヲ存在セシムルトコロノ理由トナスニハ、少シモ足ラナイノアル、歐羅巴各國テモ鹽ノ專賣法ナドハ澤山ニ行ハレテ居ルナラント云フコトガ、政府ノ意見ニナシテ居ル、稅法審査委員會アリマセモ、ソンナ事ヲ言テ居ルケレドモガ、今日ニ於テ鹽專賣法ト云フ惡制度ヲ採用シテ居ル國ハ或ハ壞地利、伊太利、其他一二箇國ニ過ギナイ、壞地利、伊太利ノ如キハ是ハ餘程ノ沿革ノ歴史ヲ有シテ居ル、今日始メテ之ヲ採用シタ云フモノハ全ク其趣ヲ異ニシテ居ル、而シテ流石英國ノ如キハ、鹽ト云フモノニ對シテハ全ク無稅ノ制度ヲ採テ居ル、或ハ北米合衆國、露西亞、丁抹、瑞典、那威ノ如キモ、鹽ノ稅ハ課シテ居ルケレドモガ、ソレハ即チ鹽ノ輸入稅ヲ課シテ居ルノアルテ、内地ノ鹽ニ向テハヤハリ無稅ノ制度ヲ採テ居ルノアルマス、獨リ獨逸竝ニ佛蘭西ノ如キハ、鹽ニ對シテ消費稅若干ヲ課シテ居ルケレドモ、併ナガラ專賣ト云ヘルガ如キ惡制度ト云フモノハ此佛蘭西獨逸ト雖モ採用ハ致シテ居ラヌ、然ルニ稅法審査委員會ノ意見書ナドヲ見マスルト、專賣法ト云フモノハ物議ガアルケレドモガ、是ハ外國ニモ其例ガ多イナド、胡麻化シテ居ルケレドモ、只今申シタ如ク鹽專賣法ト云フ惡制度ハ歐羅巴各國ニ於テ左公約ヲ致シマシテ、今回ノ議會ニ向テハ稅制整理案ヲ提出スルト云フコトニナシテ居ル、稅制ノ整理ヲ斷行スルト云フコトニナリマスレバ、此惡制度ノ如キハ第一ニ之ヲ廢止シナケレハナラヌノガ當リ前デス、政府ハ稅制ヲ整理スルト云フ公約ヲ致シテ本期ノ議會ニ稅制整理案ト云フモノガ出テ居ル、アノ稅制整理案ト云フモノハズ、唯申譯ニ稅制整理案ト云フ名ヲ付シテ出シタノミニアシテ、少シモ整理ノ實ト云フモノハ其中ニ存在ハシテ居リマセヌ、言換ヘテ見レバ法文ノ字句ヲ修正シタニ止シテ、是ハ政友會ノ諸君モ――先日大岡君ガ稅制整理ト云フヤウナコトヲ言ハレタガ、ソレ同シコトア、私ノ意見モ稅制整理ト云フコトニ付テハ少シモ其實ガ舉シテ居ラヌ、島田君ノ提出サレタル織物稅ヤ通行稅況ヤ此鹽專賣法ノ如キハ、稅制整理ヲ行フト致シマスレバ、先ダ景先ニ之ヲ廢シテ掛チナケレバナラヌニ拘ハラス、政府ハ此ノ如キ惡稅、此ノ如キ惡制度ヲモ存在ヲセシメテ置イテ、而シテ稅制整理ト云フコトヲ稱スルノハ果シテ何タル鐵面皮ナ話テアル、整理ト云フ語ハ或意味ニ於テハ字句ノ修正ヲ意味スルカ知リマセヌケレドモ、政府が議會ニ向テ約束ヲ致シトコロノ稅制整理ハ法文ノ字句ヲ修正スルト云フモノヲ改正ヲスルト云フモノガ、稅制整理ノ目的

テアタ、是ハ前ノ大藏大臣が稅制整理ノ委員會ニ向テ訓令シタ言葉ニモアル通リデアル、然ルニタテ今回ノ稅制整理案ト云フモノハ一トシテ其稅制整理調査ノ目的ニ適シタ點ハナク、唯申譯ニ或ハ所得稅アルトカ、營業稅アルト云フモノニ對シテ多少ノ税率ノ變更ハアル、而シテ其稅率ノ變更ト云フモノハアル、國民ノ希望ニ反シ、却テ惡稅ナラムノアルノ、少シモ改正シテ所謂國民ノ望ムカ如キ整理ト云フモノヲ遂ケタ跡ハ少シモ無クテ、却テ惡稅改メラレテ居ルト云フ次第アル、故ニ私共ハ政府ノ稅制整理案ニ對シテ反對ラスル者アルガ、第一ニ此鹽專賣法ノ如キ惡制度ガ廢セラレナイト云フコトニ付キマシテハ、最モ重ク政府ニ向テ此事ハ反對シナケレバナラヌノアル、願クハ満堂諸君ノ同意ヲ得テ昨年ノ議會ニ於テ既に鹽專賣法廢止ノ建議案モ通過致シテ居ルコトデゴザイマスカラシテ、大多數ヲ以テ此惡制度廢止ノ法律案ニ賛成ヲシテ下サシテ、諸君ノ御同意ヲ以テ此案が廢止セラルノ目的ヲ達セシコトヲ私ハ希望致スノデアリマス、固ヨリ簡單な案ゴザイマスカラ私ハ簡單な説明ヲ致シ、委員會ニ於テ詳細ノコトハ説明ヲ致サウト思ヒマス

○長谷場純孝君 此案ハテス、前ノ議事日程第十八ノ同一委員ニ付託サレシコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 長谷場君發議ノ如ク、前ノ議事日程第十八ノ委員ニ付託サレシコトヲ異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、日程第二十、治水事業費繕延復活ニ關スル建議案、委員長植場平君

○議長(杉田定一君) 治水事業費繕延復活ニ關スル建議案(植場平君外六名提出)

(植場平君登壇)

○植場平君 私ハ治水事業費繕延復活ニ關スル建議案ノ委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、本建議案ハ極メテ簡單明瞭デ、事業費ノ中ノ三百万圓ノ中ノ定額ノ中五萬圓ノ繰延ヲ復活シテ貰日タイト云フノデアリマス、極メテ數字カラ申シマシテモ、事柄カラ申シマシテモ、明瞭ナノデアリマスガ、此問題ノ復活スル否トハ產業ノ啓發上極メテ重大ナル關係ヲ持ツ間題デゴザイマスルカラ、委員會ニ於キマシテハ、委員諸君が熱心ニ御調ニセナリ且内務大臣ノ御出席ヲ請ヒ――併シ不幸ニシテ大藏大臣ハ御差支テゴザイマシタノテ、次官が出席ヲセラレ、内務大臣ハ丁寧親切ニ御答辯ニナツタノデアリマス、要スルニ内務大臣ニ於カレマシテモ、此建議案ニ少シモ反對ハナイ、ヨリ以上ノ熱心ノ程度ニ進ミツ、居ルノアルト云フ意味ノ御答辯モアタノデゴザイマス、併ナガラ四十一年度ニ於キマシテハ財政上ノ都合ニ依シテ、定額三百万圓ノ中ニ五十萬圓ヲ繰延ベタノハ實ニ已ムヲ得ヌノアル、斯ウ云フ御答辯アリマシタ、而シテ委員會ハ滿場一致ヲ以テ、殊ニ熱心ナル一致ヲ以テ、此案ヲ可決致シマシタ次第ゴザイマス、唯茲ニ終ニ一言ヲ加ヘテ置キ、諸君ノ御参考ニ申上ゲテ置クコトハ、今日マダノ被害ノ有様ニアリマス、大藏次官ノ答辯ニ依リマスルト、水害ノタメニ地租ヲ免シマシタ者ノ額ガ、一十九年度ニ於キマシテハ、約三十五萬圓、二十年度ニ於テ約五十萬圓、三十一年度ニ於キマシテハ四十五萬圓、三十二年度ニ於テハ三十三萬圓、三十八年度ニ於テハ三十九萬圓、四十年度ニ於テハ約六十萬圓ト云ノアリマシテ、此間ニ年度ノ脫ケテ居リマスノハ二十萬圓以下ゴザイマス、私ハ態ト二十萬圓以下ハクドウゴザイマスカラ、脱クノゴザイマスガ、治水事業ノ最モ必要ア

アルト云アコトハ此答辯ニ係リマシテモ明カアリマス、四十一年度ニ於テハ約六千万圓ノ地租ヲ免除シテ居ルト云フコト、四十一年度ニ繰延ヘタノハ五十万圓ナル、此繰延モ政府ノ答辯ニ依シテ見ルト像定年度割ノ中ニハ、其金ヲ繰延シテ事業ラズルノナルカラ少シモ金ヲ削減シタノテハナイト云フ、答辯アリマス、ソレハ其通りアル、併ナガラ委員會ノ問答ノ間ノ趣意ヲ申シマスト、此繰延が甚ダ、危険アル、四十一年度ニ於テ二三百萬圓ノ金ヲ使フベキモノヲ、二百五十万圓ナル、此繰延ベル、四十三年度以後ニ於テ繰延スト云フガ、是ハ甚ダ、危険アル、故ニヤハリ豫定額三百萬圓ハ繰延ヲ爲サズシテ、毎年三百万圓ヲ、使シテ負ヒタク、財政ノ許ス状態ニ復シナラバ、二三百萬圓ハ愚カ、六百万圓モ、七百万圓モ、此事業費ハ増加シテ貴ヒタイノデアルガ、今日ハサウ云フ状態アルカラ、此三百万圓ニ繰延スコトノ定額ニ止メテ督ク、若モ四十年度以後ニ於テ、一朝昨年ノ如キコトノアツトキニハ、實ニ取戻シテナラヌコトアルト云フコトヲ御説モ伺シテコトデゴザイマス、故ニ政府ニ望ム、此建議案ハ無論満場一致テ可決スルモノト考ヘマス、満場一致テ可決ニナリマシタ以上ハ、宜シク廟議ヲ凝ラサレテ、此建議案ノ實ニナランコトヲ一言希望シテ置キマス

〔採決ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 別段御議論モナイヤウデアリマスカラ、採決ヲ致シマス委員長報告通リ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ

第二十一 撫順炭坑開發ノ建議案(松本君平君外八名提出)
撫順炭坑開發ノ建議案
二十ー、撫順炭坑開發ノ建議案(松本君平君)

(松本君平君登壇)

○松本君平君 諸君、撫順炭坑ノ建議案ヲ本員ハ本議會ニ提出致シタノデスガ、是

ニ付テ今日ノ財政上ニ於テ非常ニ政府ハ困難ヲ感シテ居ルト言ヒ、又増税ヲ人民ハ苦

シテ居ルト云フトキニ於テ、一方ニハ非常ナル國家ノ大財源が伏在シテ居ルト云フトキニ、

即チ日露戰爭ノ結果トシテ得タコロノ此雄大ナル撫順ノ炭山ヲ開發ミテ、サウシテ國民

ノ利益ト工業ノ發達ヲ指導スルト云フコトガ、即チ是ノ建議案ノ大體ノ趣旨アリマス

(「短ク」「簡単」ト呼フ者アリ)是ハ私ハ成ルベク十分ニ申述ベタイト思フノデアリマス、ト云フモノハ一般ニ此撫順炭坑ノ今日ノ狀況ト云フモノが分シテ居リマセヌノデスカラ、廣

右建議ス

○松本君平君 諸君、撫順炭坑ノ建議案ヲ本員ハ本議會ニ提出致シタノデスガ、是付テ今日ノ財政上ニ於テ非常ニ政府ハ困難ヲ感シテ居ルト言ヒ、又増税ヲ人民ハ苦シテ居ルト云フトキニ於テ、一方ニハ非常ナル國家ノ大財源が伏在シテ居ルト云フトキニ、

ヘキノ秋ニ於テ姑息ナル經營ニ甘シ徒ニ此ノ大富源ヲ曠土ニ放委スルノ理

由アルヘカラス速ニ之ヲ開發シテ大ニ國富ノ伸殖ヲ計ルヘシ

撫順炭坑開發ノ建議案

サウシテ此今日ノ日本ノ工業ノ不振ヲ來タシタル主モナル原因ト云フモノハ、全ク石炭ノ價ノ廉イ廉クナイト云フコトガ、今日ノ工業ノ不振ノ原因ヲナシテ居ルノデアル、ソレデ我國ニ於テハ今日一年僅カニ一千萬噸シカ石炭ノ採掘ト云フモノガナインデアリマス、然ニ亞米利加ニ於テハ殆ドニ億二千万噸、又英吉利ニ於テハ二億四千万噸、獨逸ニ於テハ一億七千万噸ト云フヤウナ澤山ノ石炭ヲ一年ニ採掘シテ居ルノデアル、我國ニ於テハ僅カニ一千万噸ノ石炭シカ採掘シテ居ラナイノデアル、ソレデ無論一國ノ農業ノ利益ト云フモノハ貴重セシケレバナラヌモノデアリマスケレドモ、製造工業ノ發達進歩ヲ圖ルニアラザレバ、此當面ノ國ノ利益資源ヲ開發スルコトハ出來ナインデアリマス、殊ニ今日戰後ノ經營ニ於テ、最モ必要ナル工業ノ發展ヲル途ハ、石炭ノ値段ヲ廉クシテ、サウシテ廣く製造工業ヲ盛シニ起スヨリ外ニナイト思フノデアル、ソレデ朝鮮ヲ日露戰争ノ結果トシテ得タコト言ヒマスケレドモ、是等ノ國ニ對シテハ隨分ノ金ヲ毎年スケレドモ、免ニ角ニ撫順ノ炭山ト云フモノハ、私モ一昨年之ヲ視察シテ見マシタコロガ、非常ナル大炭層アル、世界ニ於テ殆ド得ルコトノ出來ナイ、見ルコトノ出來ナイトコロノ大炭山アルノデアリマス、此撫順ノ炭山ヘドウ云フモノアルカト云ヒマスルト、即チ其炭層ト云フモノハ、百二十尺アルノデ、サウシテ是ガ七哩ノ間ノ距離ヲ大ナル山ヲナシテ居ルノデアリマス、或有力ナル技術家ノ計算シタルトコロヲ以テ見マスルト、此七哩及百二十尺ト云フトコロノ大炭層ノ間ニ含蓄セラレラ居ルトコロノ石炭ノ量ト云フモノハ、殆ド五億万噸ヨリ六億万噸ノ間ノ炭量テアルト言ウテ居ルノデアリマス、此一噸ノ價ガ七圓トシタナラバ、即チ七億万噸アラモトシタナラバ、殆ド五十億万圓ノ價ニナルモノデアリマス、此無盡藏ナル寶庫ト未曾有ナル炭山ハ、今日トウ云フ有様ニナシテ居ルカト申シマスルト、誠ニ燐レナル、寧口憐レムベキトコロノ計畫ニ依シテ、此財源ガ拋棄サレテ居ルノデアリマス、若シ適當ナル方法ト、最モ有力ニシテ又經濟的ノ方法ニ依シテ、此炭山ヲ開發シタナラバ、恐クハ今日ノ國力ヲ十倍ニシ、若クハ百倍ニシ、若クハ千倍ニスルト云フコトモ決シテ困難ナコトデハナイト思フノデアリマス、此大財源ヲ一方ニ於テハ持テ居テ、サウシテ一方ニハ政府ハ貧乏ニ苦シテ居ルト言ヒ、或ハ人民ハ増税ニ苦シテ居ルト云フコトハ、誠ニ迂遠ノ合ハヌ話デアルト私ハ信ズルノデアル、増税ラズル、僅ニ五百万ヤトカ、或ハ木綿税ガドウデアルトカ、織物ガドウデアルトカ、或ハ通行税ガ高イトカ、廉イトカ實ニ其眼孔ノ小ナルコト、實ニ其規模ノ小ナルコト、驚クニ堪ヘタル次第テアルノデアリマス、一方ニ於テ何億万圓、何十億万圓ノ財源ガ横ジテ居ルニ拘ハラス、此三百四百ノ堂々タル議員が此處ニ於テ、五百萬圓二百萬圓甚シキニ至リテハ百万圓財源ヲ汲々乎トシテ論シテ居ルト云フコトハ、如何ニモ痛歎ニ堪ヘヌ話ト私ハ思フノデアル(拍手起ル「大キイ」ト呼フ者アリ)諸君、此今日ノ場合ニ於テデス、私ハ政府ノ財政ノ困難ナルコト悲ムト同時ニ、又國民ガ是等ノ狀況ニアルト云フコトハ更ニ悲ムノデアル、又國民ノ利害ヲ考ヘテ、増税トカ或ハ新税ヲ起ス云フコトニ向クテ、何等更ニ眼孔ヲ大ニシテ、日本ノ國民ガ鹽稅ニアラウガ、若クハ總テノ稅源ヲ開發シテス、サウシテ何億万圓、何十億万圓ノ稅ヲ出スモ尙且辭スルニ足ラヌト云フ程ニ、此國民ニ財源ス與ヘ、力ヲ與ヘタナラバ、今日此處ニ於テ諸君ガ——三百人四百人、諸君が集シテ僅ナル一千萬圓ニ足ラヌトコロノ金ヲ汲々乎トシテ顔ヲ赤クシテ争フ價值ハナインデアリマス(拍手スル者アリ)故ニ私ハ若シ議會ニ向クテ、私ノ希望ヲ訴ヘルコトが出來ナイン

於テハ、工業ノ進歩ヲ圖リ、外ニ於テハ東洋ノ市場ヲ撫順炭坑が獨占フスル、サウシテ此利益ハ何處ニ有ルカト云フト會社が莫大ナル利益ヲ得ルト同時ニ、日本政府が之ニ依テ得ルトコロノ收入モ多ク、又國民モ工業ノ發達ニ依テ得ルトコロノ利益ト云フモノハ、殆ド數フベカラザルトコロノ利益ニアリマス、斯ノ如ク一方ニ於テ日露戰爭ノ結果ニ依テ得タトコロノ撫順炭坑ヲ、其儘ニ措イテ、僅ニ今日ノ計畫ニ依レバ、百万噸位シカニ四年ノ末ニ於テ、掘ルコトノ出來ナイヤウナ僅カナル眇タル計畫ヲ以テ、サウシテ經營ヲシヤウト云フコトハ、如何ニモ其恩及ブベカラザル有様アアルト思フノアリマス、ソレデ私ハ今日政府ハ財政ノ窮乏ヲ訴ヘテ居ル、國民ハ增稅ニ苦シテ居ルト云フアバ、一方ニ於テ斯ノ如キ雄大ナルトコロノ富源ガ横ツテ居ルニ何故ニ國民ハ之ニ注意シナイノアルカ、何故ニ議會ハ僅ニ百万圓ト云フトコロノ增稅ノタメニ汲々乎トシテ、朝カラ既マテ汗水垂ラシテ議論スルノアルカ、千言萬言費シタトコロカ、何等ノ國家ニ益ガナイ、ソレヨリモ遙ニ此大計畫ヲ立ツテ、國利民福富源ヲ開發スル途ヲヤツタナラバ、實ニ吾ミガ今日ヨリ十倍ノ稅ヲ多ク又十倍ノ拂フタトテモ決シテ苦痛ハナイト私ハ信ズルノアル、餘リ今日ノ人心ガ、微ケトシテ振ハズシテ、餘リ今日ノ議會が醒懶トシテ、小問題ニ汲々乎トシテ、遠大ナ國民國家ノ計畫ヲ立ツテ今日ノ時勢ヲ教ヲ考ノナイコトヲ悲ムノアリマス、願クハ諸君ハ此建議案ヲ通過セラレテ、サウシテ一齊ニ東洋ニ於ケルトコロノ帝國ノ武威ヲ益、盛ンナラシメテ、國民ハ工業的商業的立國ノ基礎ヲ強大ナラシムルコトヲ切ニ希望致シマス。

〔贊成ト呼ヒ拍手起ル〕

○宮古啓三郎君 松本君ノ建議ノ趣意ハ結構アリマスガ、チョコト質問致シテ置キ議案ヲ見マスルト、直チニ政府ニヤラセルヤウデアリマスガ、政府が直接ニ直クサマ即チ此事業ヲヤルコトハ出來ナイガ、チヨット此ノ案ノ趣意ハ政府が南滿洲鐵道會社ニ命シテ斯ウ云フコトヲサセヤウト云フ意味アリマス、或ハ直チニ政府ニ斯ウ云フコトヲ望ムノアルカ、ドチラアリマスカ

○松本君平君 御答致シマスガ、南滿洲鐵道會社ハ一億二千万ノ會社テアゲテ、其中政府ハ一億万圓ノ株主アリマスカラ、即チ大藏省ナリ外務省ハ直接ニ間接ニ、此利益上ノ關係ヨリシテ、南滿洲鐵道會社ニ向シテノ主權ヲ持シテ居ルモノト思ヒマス、故ニ議會ハ最高ノ監督権ヲ持シテ居ルモノアリマスカラ、日本政府ヲシテ——日本政府ノ利益ヲ代表シテ居ルトコロノ總裁ヲシテ、此撫順炭坑ノ經營ヲヤラセルト云フコトハ出來ルト信ズルノアリマス

○日向輝武君 撫順炭坑ノコトニ付テ、日本政府ト支那政府ノ間ニ一ノ懸案トナテ居ルヤウニ心得テ居リマスガ、此建議案ヲ考ヘマスルニ付テ、支那政府ト日本政府ノ間ニ此撫順炭坑ノ問題ニ付テ、ドウ云フ關係ニナクテ居ルカ、幸ニ政府委員ノ山座君及倉知君モ其處ニ見エテ居リマスカラ、撫順炭坑ト云フモノニ付テ日本政府ト支那政府トノ間ノ懸案ノ詳細ナル御説明ヲ頗ハシタイノアリマス

○政府委員(山座圓次郎君) 唯今日向君カラ御質問ガゴザイマシタ此撫順炭坑ハ、露西亞ガ東清鐵道會社ノ利益ノタメニ經營シテ居リマス、ソレデボーツマス、條約ニ據シテ東清鐵道會社ニ附屬シ、若クハ東清鐵道ノ利益ノタメニ經營シテ居タ炭山ハ日本ニ讓渡ス、斯ウ云フコトニテ、而シテ支那政府ハソレヲ承認シタノアリマス

ス、日本政府ハ之ヲ明確ニ撫順炭坑ナルモノハ日本ニ讓渡サレタモノト確信シテ居リマス、其點ニ付イテハ一點ノ疑ラズ持タナインテ、所ガ支那ト條約締結ノ後ニ至シテ、清國政府カラアレハ前ニ個人ニ許シテ居タ山アルカラ、アレヲ探査サレテハ因ルカラ返シテ貴ヨダイト云フ交渉ガアッタノテス、中央政府カラモ公使ニモ照會シ、又一方ニ於テ奉天ノ將軍カラモ總領事ニ向テ交渉ガアッタノテス、併ナカラ支那政府ハ個人ト如何ナル約束ヲシテ居タカラ、ソレハ向フノ話ニアツテ、日本ノ方ニハ明カリ譲渡スルコトヲ承認シテアルノアリマスカラ、ソレデ日本政府ノ方ニハ撫順炭坑ニ關スル支那ノ個人ノ權利ト云フモノハ一切承認シナインアル、其趣意ヲ以テ支那政府ニハ今迄回答シテ居ルノアリマス

〔採決タクト呼フ者アリ〕

○日向輝武君 マダ分ラヌデスナ、マダ極ラヌデスカ

○政府委員(山座圓次郎君) 勿論日本政府ハ極シテ居ルノテス

○横井時雄君 此建議案ハ頗ル有益ナル建議案ト思ヒマス、議長指名九名ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ムマス

〔贊成タクト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 横井君發議ノ如ク議長指名九名ノ委員ニ付託シテ御異議ヘアリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ハ無イト認メマス——御認リ申スコトガアリマス、衆議院議員選舉法中改正法律案外四件委員星野長太郎君病氣ニ付、辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議ヘアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト聲起ル〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハ無イト認メマス、同委員ハ議長指名ニ付キ、其補缺トシテ石田孝吉君ヲ指名致シマス——報告ガアリマス

(書記朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル建議案左ノ如シ

明治三十四年法律第三十九號中改正法律案

提出者 小川 平吉君 濱田 國 松君

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

提出者 濱田 國 松君

保險官營ニ關スル建議案

提出者 板倉 齐 藤 瑞 木 岸 勝 本 正君

一委員ヲ指名スル左ノ如シ

公證人法案

濱田 四郎君

古賀 康 藤 瑞 木 岸 勝 本 正君

板倉 勝 木 岸 勝 本 正君

川原 茂 輔 君

森 善 三郎君

野澤 龍 藏 君

中村 三助君

川原 茂 輔 君

中村 三助君

上野 順一郎君	植木 元太郎君	河井 重蔵君
口源一郎君	石谷 傳四郎君	藤崎 朋之君
衆議院議員選舉取締二關スル法律案	捕目	
高橋 安爾君		
丸山義一郎君		
丹尾 頼馬君		
河原林 義雄君		
多田 作兵衛君		
木村 格之輔君		
藤澤幾之輔君		
駒林廣度君		
濱田 國松君		
望月 三善清之君		
松本 大吉君		
渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律案		
武藤 金吉君		
東一 雄倉茂次郎君		
中林 友信君		
非常特別稅法中改正法律案外一件		
元田 征矢野半彌君		
森首藤本政之助君		
須藤島田陸嘉吉君		
植順炭坑開發ノ建議案		
大植本君		
淵龍太郎君		
○議長(杉田定一君) 次ノ日程ハ追テ公報ヲ以テ御通知シマス、本日ハ是ニテ散會		
午後四時三十一分散會		

衆議院議事速記録第八號正誤

頁段行誤正
二九上三二二底七八千萬圓
二十七八億